

三浦市まちづくりのための市民アンケート 調査結果報告書

令和7年8月

三 浦 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	クロス集計表の見方.....	1
II	調査結果.....	2
(1)	回答者属性.....	2
(2)	あなたのお住いの周辺環境と今後の定住について.....	6
(3)	「Uターン」や「Iターン」について.....	27
(4)	行政サービスや必要な施策について.....	34
(5)	出産・子育てについて.....	43
(6)	結婚について.....	48

I 調査の概要

1 調査の目的

令和8年度を初年度とする総合計画（基本構想・基本計画）を策定するにあたり、市民からの意見を踏まえ、計画策定の基礎資料とするため調査を実施しました。

2 調査対象

市民：市内在住の16歳以上の市民2,000人を対象に無作為抽出

3 調査期間

令和7年3月13日～3月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
2,000件	756件	37.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

7 クロス集計表の見方

濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、白抜き文字にしています。

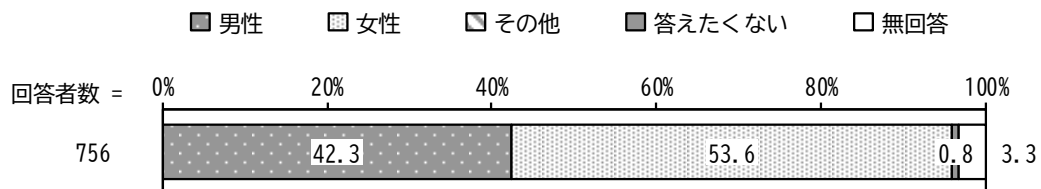
薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、全属性の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目については、薄いグレーで塗りつぶして特記しています。

Ⅱ 調査結果

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

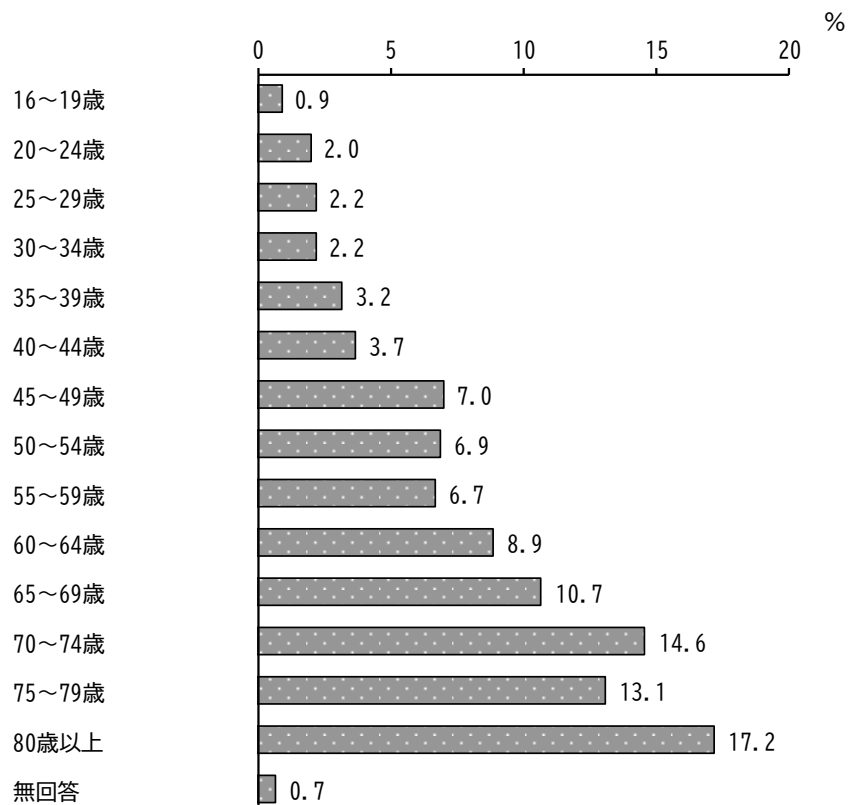
「男性」の割合が42.3%、「女性」の割合が53.6%となっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

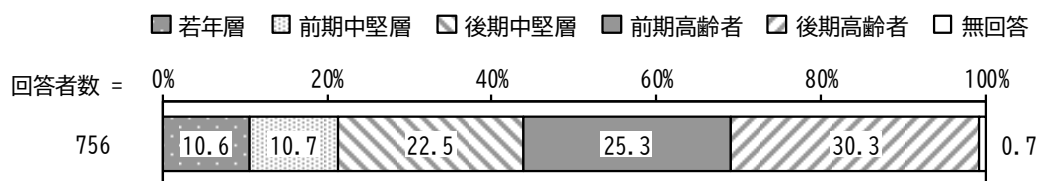
「80歳以上」の割合が17.2%と最も高く、次いで「70～74歳」の割合が14.6%、「75～79歳」の割合が13.1%となっています。

回答者数 = 756



年齢層

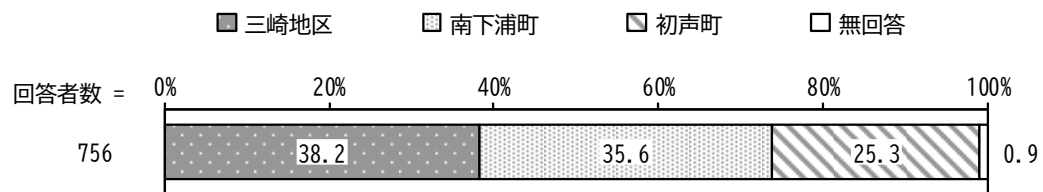
「後期高齢者」の割合が30.3%と最も高く、次いで「前期高齢者」の割合が25.3%、「後期中堅層」の割合が22.5%となっています。



※若年層は16～39歳、前期中堅層は40～49歳、後期中堅層は50～64歳、前期高齢者は65～74歳、後期高齢者は75歳以上と定義しています。

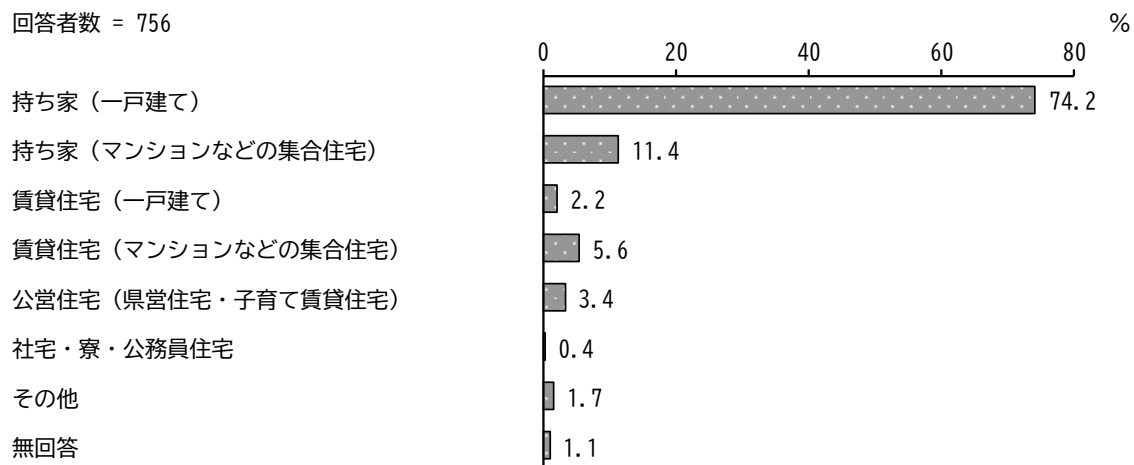
問3 現在お住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

「三崎地区」の割合が38.2%、「南下浦町」の割合が35.6%、「初声町」の割合が25.3%となっています。



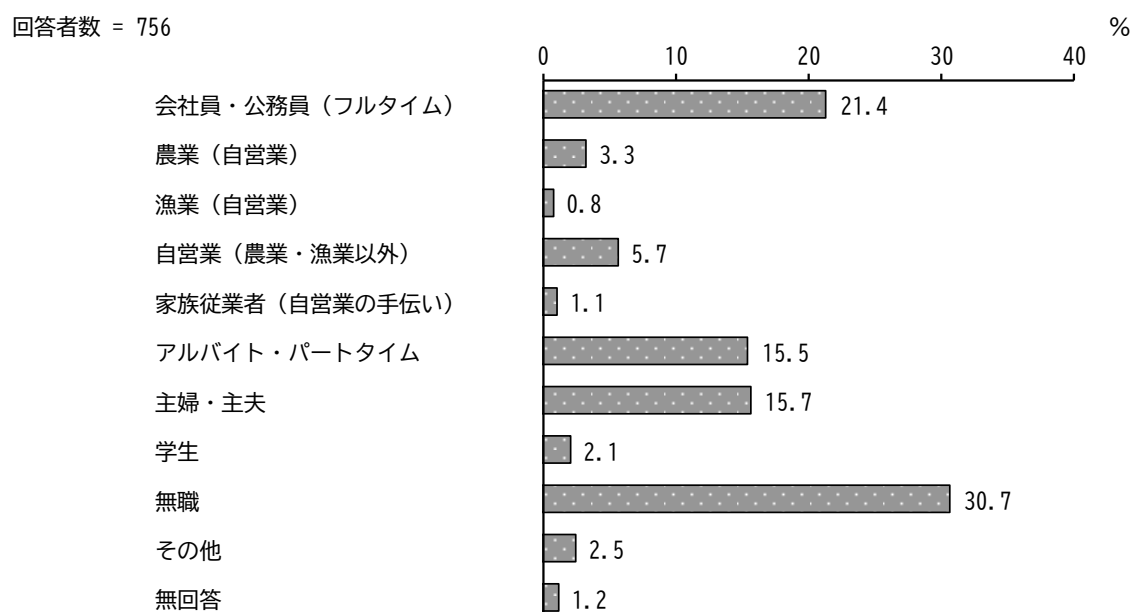
問4 あなたの現在のお住まいは次のうちどれに当たりますか。(○は1つ)

「持ち家（一戸建て）」の割合が74.2%と最も高く、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）」の割合が11.4%となっています。



問5 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

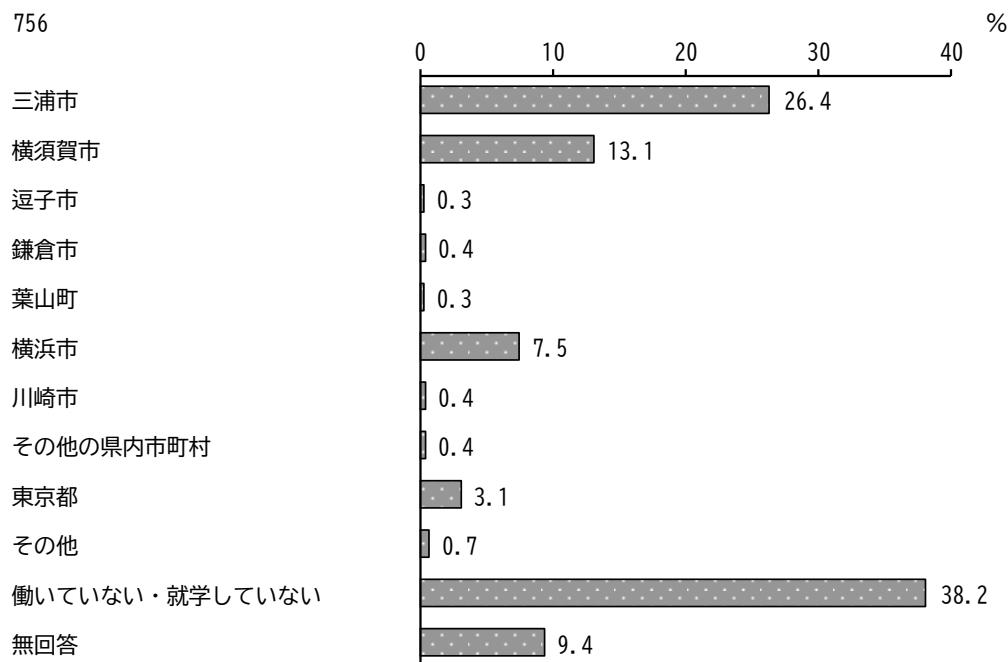
「無職」の割合が30.7%と最も高く、次いで「会社員・公務員（フルタイム）」の割合が21.4%、「主婦・主夫」の割合が15.7%となっています。



問6 あなたの通勤先（通学先）はどちらですか。（○は1つ）

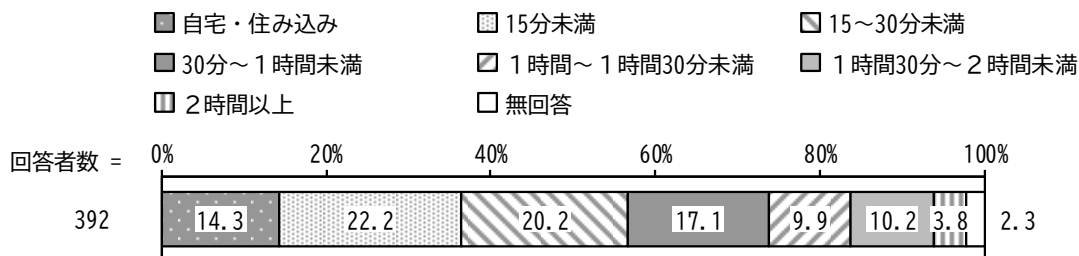
「働いていない・就学していない」の割合が38.2%と最も高く、次いで「三浦市」の割合が26.4%、「横須賀市」の割合が13.1%となっています。

回答者数 = 756



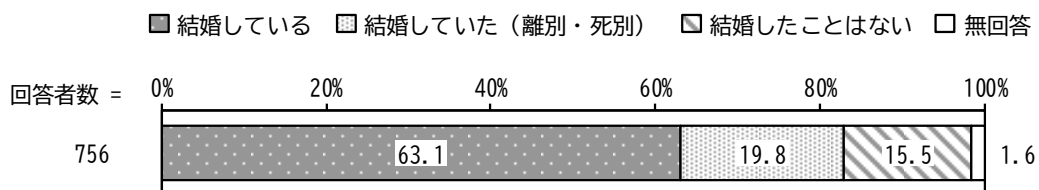
問7 あなたの通勤・通学時間はどのくらいですか。（○は1つ）

「15分未満」の割合が22.2%と最も高く、次いで「15～30分未満」の割合が20.2%、「30分～1時間未満」の割合が17.1%となっています。



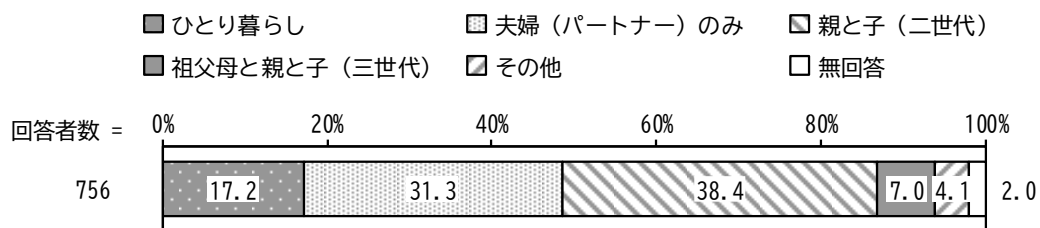
問8 あなたは結婚していますか。（○は1つ）

「結婚している」の割合が63.1%、「結婚していた（離別・死別）」の割合が19.8%、「結婚したことはない」の割合が15.5%となっています。



問9 あなたの家族構成はどれに当てはまりますか。(○は1つ)

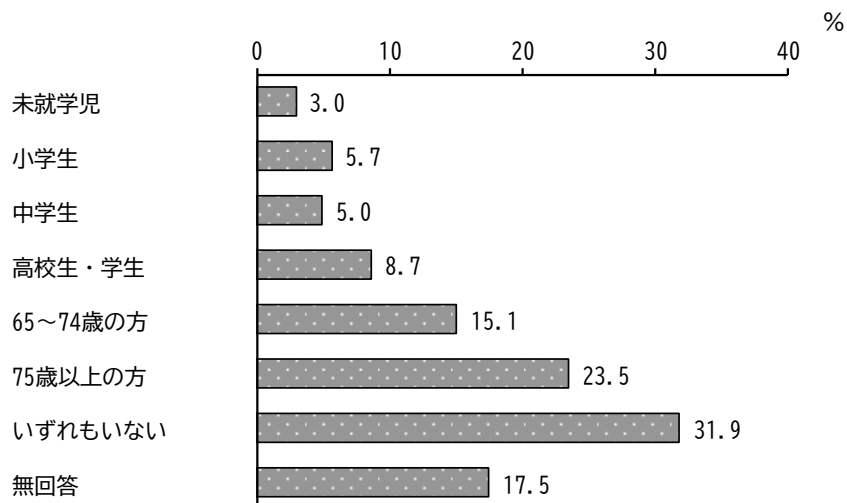
「親と子(二世代)」の割合が38.4%と最も高く、次いで「夫婦(パートナー)のみ」の割合が31.3%、「ひとり暮らし」の割合が17.2%となっています。



問10 同居している方の中で、以下に当てはまる方はいますか。(○はいくつでも)

「いずれもない」の割合が31.9%と最も高く、次いで「75歳以上の方」の割合が23.5%、「65～74歳の方」の割合が15.1%となっています。

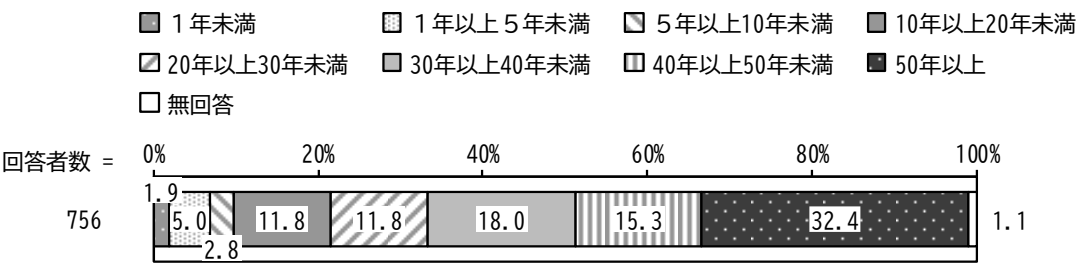
回答者数 = 756



(2) あなたのお住いの周辺環境と今後の定住について

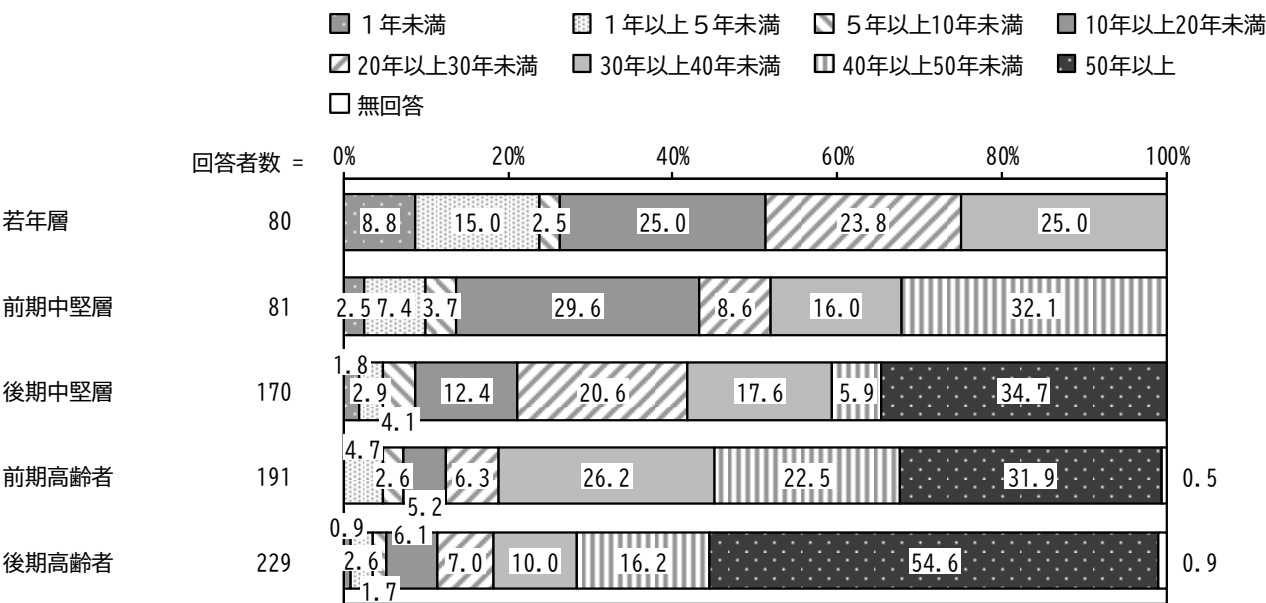
問 11 三浦市に通算で何年住んでいますか。(○は1つ)

「50 年以上」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「30 年以上 40 年未満」の割合が 18.0%、「40 年以上 50 年未満」の割合が 15.3%となっています。



【年齢層別】

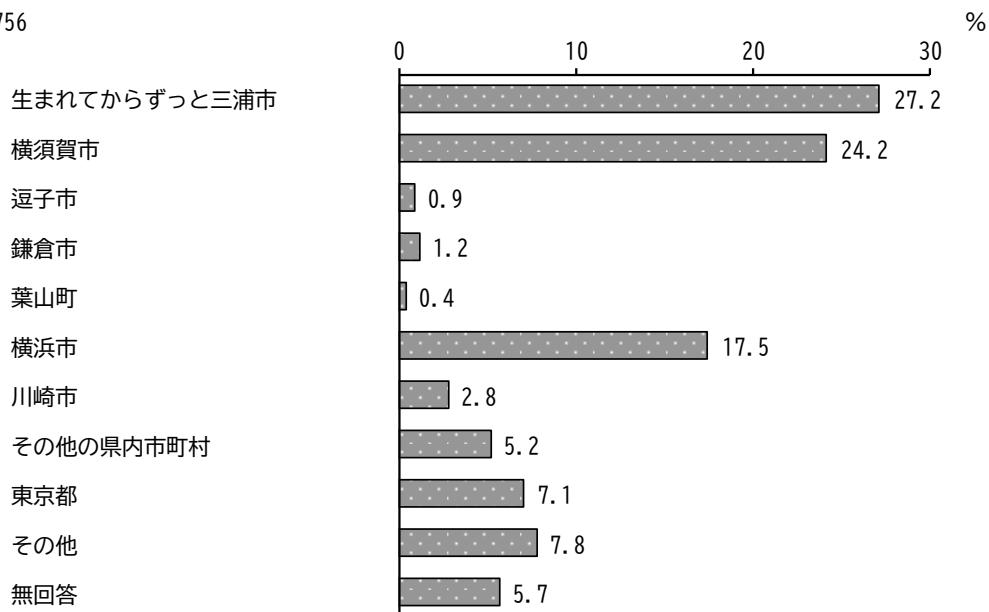
年齢層別にみると、若年層では「10 年以上 20 年未満」、前期中堅層では「40 年以上 50 年未満」、後期中堅層・前期高齢者・後期高齢者では「50 年以上」の割合が最も高くなっています。



問 12 三浦市に住む前は、どちらにお住まいでしたか。(○は1つ)

「生まれてからずっと三浦市」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「横須賀市」の割合が 24.2%、「横浜市」の割合が 17.5%となっています。

回答者数 = 756



「その他」意見内容

記述内容	件数
埼玉県	7
千葉県	5
福岡県	5
北海道	4
静岡県	4
群馬県	2
茨城県	2
岩手県	2
愛知県	2
インドネシア	2
その他の意見（各1件）	22
熊本県, カナダ国, 山梨県, 新潟県, 宮崎県, 佐賀県, 県外, 沖縄県, 山形県, 福島県, 九州, 三重県, 宮城県, 3歳の時三崎で住む様になった, 海外に住む, 青森県, 鹿児島県, 生まれは横須賀市, 色々, 滋賀県, 広島県, 栃木県	
なし	2
総数	59

【年齢層別】

年齢層別にみると、後期中堅層では「横須賀市」、それ以外の年齢層では「生まれてからずっと三浦市」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「生まれてからずっと三浦市」の割合が低くなる傾向がみられます。

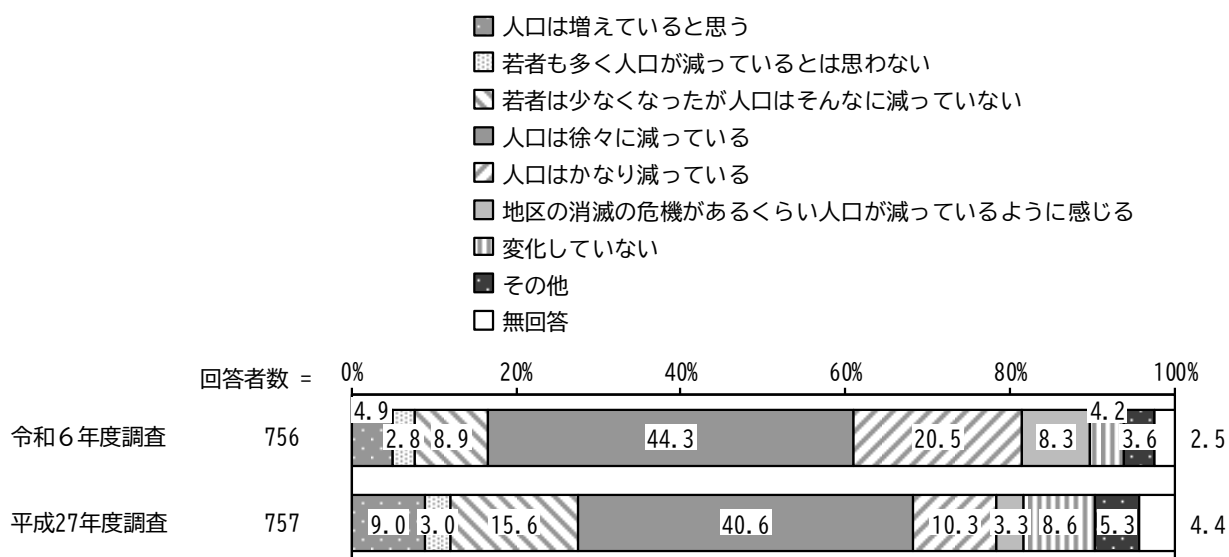
単位：％

区分	回答者数 (件)	三浦市 生まれてからずっと	横須賀市	逗子市	鎌倉市	葉山町	横浜市	川崎市	その他の県内市町村	東京都	その他	無回答
全 体	756	27.2	24.2	0.9	1.2	0.4	17.3	2.8	4.8	7.1	8.2	5.8
若年層	80	37.5	26.3	0.0	2.5	0.0	7.5	2.5	5.0	6.3	10.0	2.5
前期中堅層	81	32.1	22.2	1.2	0.0	0.0	21.0	1.2	7.4	7.4	7.4	0.0
後期中堅層	170	27.6	29.4	0.0	1.2	0.0	16.5	1.2	3.5	8.2	9.4	2.9
前期高齢者	191	26.2	25.1	1.6	0.5	0.5	19.9	3.7	3.7	7.3	7.3	4.2
後期高齢者	229	23.1	19.7	1.3	1.7	0.9	18.3	3.9	5.7	6.6	7.9	10.9

問 13 あなたのお住まいの地区の人口減少の度合いについて、10 年前と比べてどのように感じていますか。(○は1つ)

「人口は徐々に減っている」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「人口はかなり減っている」の割合が 20.5%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「人口はかなり減っている」の割合が増加しています。一方、「若者は少なくなったが人口はそんなに減っていない」の割合が減少しています。

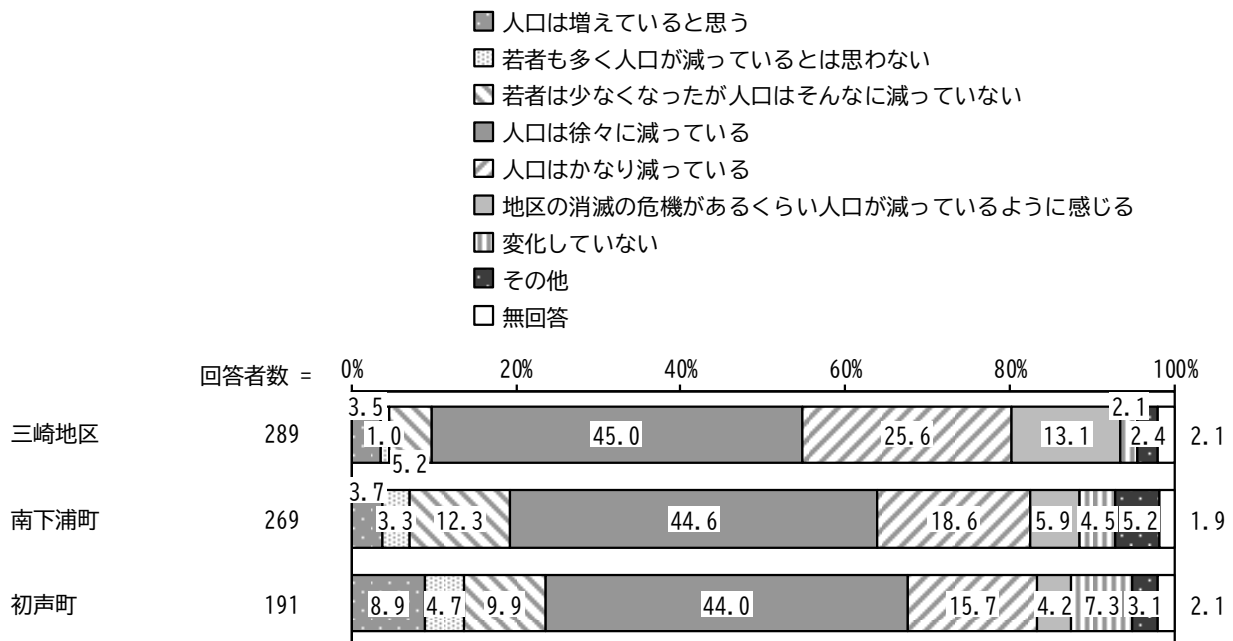


「その他」意見内容

記述内容	件数
わからない。	11
10年前を知らない。	8
転入後、間がないのでわからない。	5
高齢者は増加している。	3
子供の声がきこえない。	2
その他の意見（各1件）	5
外に出た時の感じで歩いている人が少ないと思う、よそからきたので、あまり感じない、20年前と変わらない、若い人が家を買って住んでいるが空家もある	
総数	34

【居住地域別】

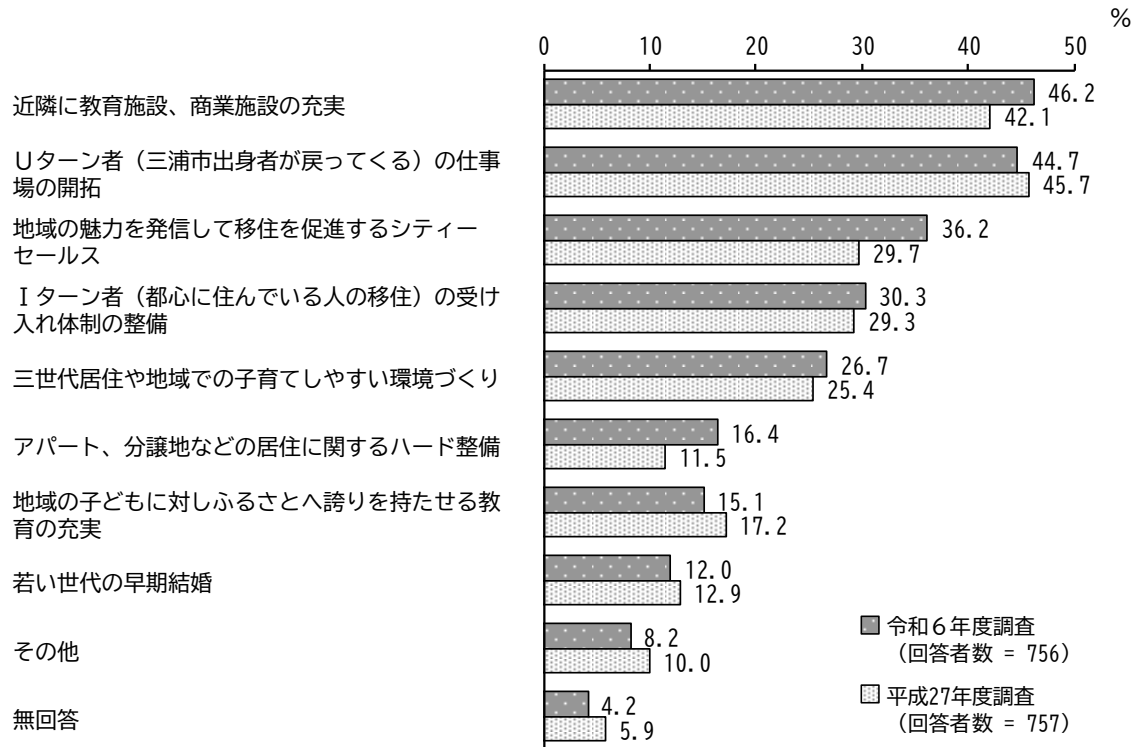
居住地域別にみると、いずれの地域でも「人口は徐々に減っている」の割合が最も高くなっています。また、三崎地区では「人口はかなり減っている」「地区の消滅の危機があるくらい人口が減っているように感じる」の割合も高くなっています。



問 14 あなたの地区で人口を増やすために必要な取組は何だと思いますか。
(○はいくつでも)

「近隣に教育施設、商業施設の充実」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「Uターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓」の割合が 44.7%、「地域の魅力を発信して移住を促進するシティーセールス」の割合が 36.2%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「地域の魅力を発信して移住を促進するシティーセールス」の割合が増加しています。



「その他」意見内容

記述内容	件数
交通手段・インフラの整備	20
雇用の確保	13
行政サービスの充実	10
子育て支援の充実	4
市街化調整区域の解除	4
減税	4
企業の誘致	4
観光施設の充実	4
空き家対策	4
公園の整備・充実	2
駅周辺の整備	2
道路の改善	2
増えなくていい	2
その他の意見（各1件）	9
全部、自然を守り大切にする、趣味など交流の場を催し、色々なツールを使い発信すべき。サークル的な感覚、近くにお店か自販機でもあるといい、人に優しくする心の教育、医療の充実、農業・漁業関連、色々、わからない	
総計	84

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層・前期中堅層・後期中堅層では「近隣に教育施設、商業施設の充実」、前期高齢者と後期高齢者では「Ｕターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「近隣に教育施設、商業施設の充実」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	近隣に教育施設、商業施設の充実	Ｕターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓	地域の魅力を発信して移住を促進するシティーセールス	Ｉターン者（都心に住んでいる人の移住）の受け入れ体制の整備	三世代居住や地域での子育てしやすい環境づくり	アパート、分譲地などの居住に関するハード整備	地域の子どもに對しふるさとへ誇りを持たせる教育の充実	若い世代の早期結婚	その他	無回答
全 体	756	46.2	44.7	36.2	30.3	26.7	16.4	15.1	12.0	8.2	4.2
若年層	80	60.0	45.0	31.3	38.8	45.0	23.8	26.3	11.3	3.8	0.0
前期中堅層	81	58.0	48.1	37.0	40.7	34.6	23.5	18.5	9.9	9.9	1.2
後期中堅層	170	54.7	45.3	36.5	32.4	26.5	15.9	13.5	8.8	11.8	2.9
前期高齢者	191	42.9	44.5	38.7	31.9	21.5	15.7	12.0	11.5	7.9	3.1
後期高齢者	229	33.6	43.2	35.8	21.4	22.3	11.8	14.0	15.7	7.0	7.9

【居住地域別】

居住地域別にみると、三崎地区と初声町では「近隣に教育施設、商業施設の充実」、南下浦町では「Ｕターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓」の割合が最も高くなっています。

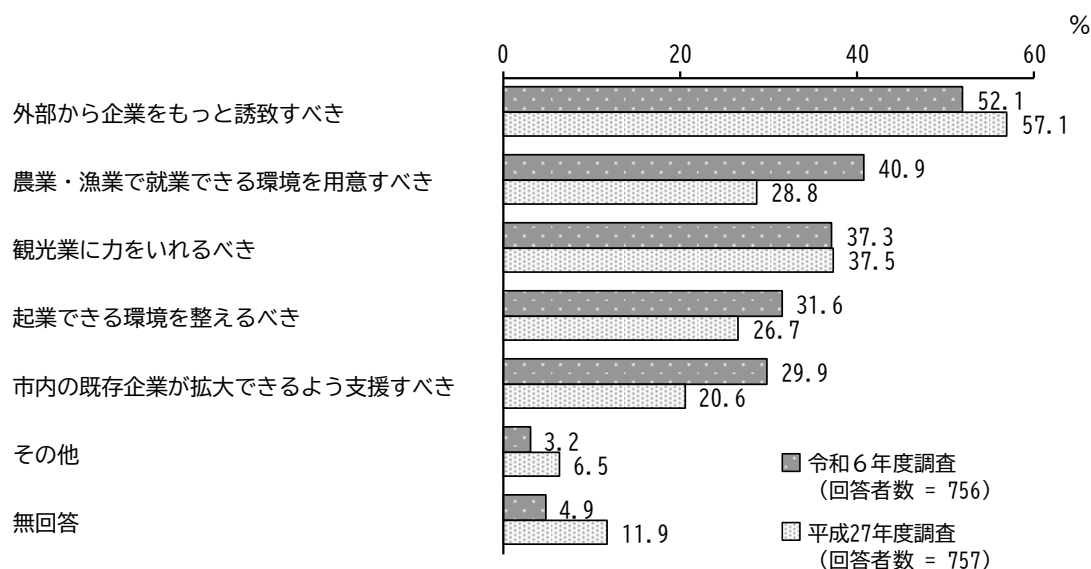
単位：％

区分	回答者数（件）	近隣に教育施設、商業施設の充実	Ｕターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓	地域の魅力を発信して移住を促進するシティーセールス	Ｉターン者（都心に住んでいる人の移住）の受け入れ体制の整備	三世代居住や地域での子育てしやすい環境づくり	アパート、分譲地などの居住に関するハード整備	地域の子どもに對しふるさとへ誇りを持たせる教育の充実	若い世代の早期結婚	その他	無回答
全 体	756	46.2	44.7	36.2	30.3	26.7	16.4	15.1	12.0	8.2	4.2
三崎地区	289	49.8	49.5	36.0	28.4	26.6	16.6	16.3	11.8	9.0	3.8
南下浦町	269	42.0	44.6	34.6	29.7	27.1	14.9	16.0	14.9	7.1	5.6
初声町	191	46.1	37.7	39.8	35.1	26.7	17.8	12.0	8.4	8.9	2.6

問 15 三浦市内の仕事の機会を充実させるためにどのような方策が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

「外部から企業をもっと誘致すべき」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「農業・漁業で就業できる環境を用意すべき」の割合が 40.9%、「観光業に力をいれるべき」の割合が 37.3%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「農業・漁業で就業できる環境を用意すべき」「市内の既存企業が拡大できるよう支援すべき」の割合が増加しています。



「その他」意見内容

記述内容	件数
行政施策・サービスについて	15
農業・漁業の支援・改善	8
観光施設の充実	7
アウトレット・工場誘致	4
交通・道路整備	3
わからない	2
その他の意見（各1件）	4
人間関係と雰囲気、インターネット関係のインフラ整備、全部、駅前が開発出来そうな気はする	
総計	43

【年齢層別】

年齢層別にみると、いずれの年齢層でも「外部から企業をもっと誘致すべき」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「観光業に力をいれるべき」の割合が低くなる傾向がみられます。

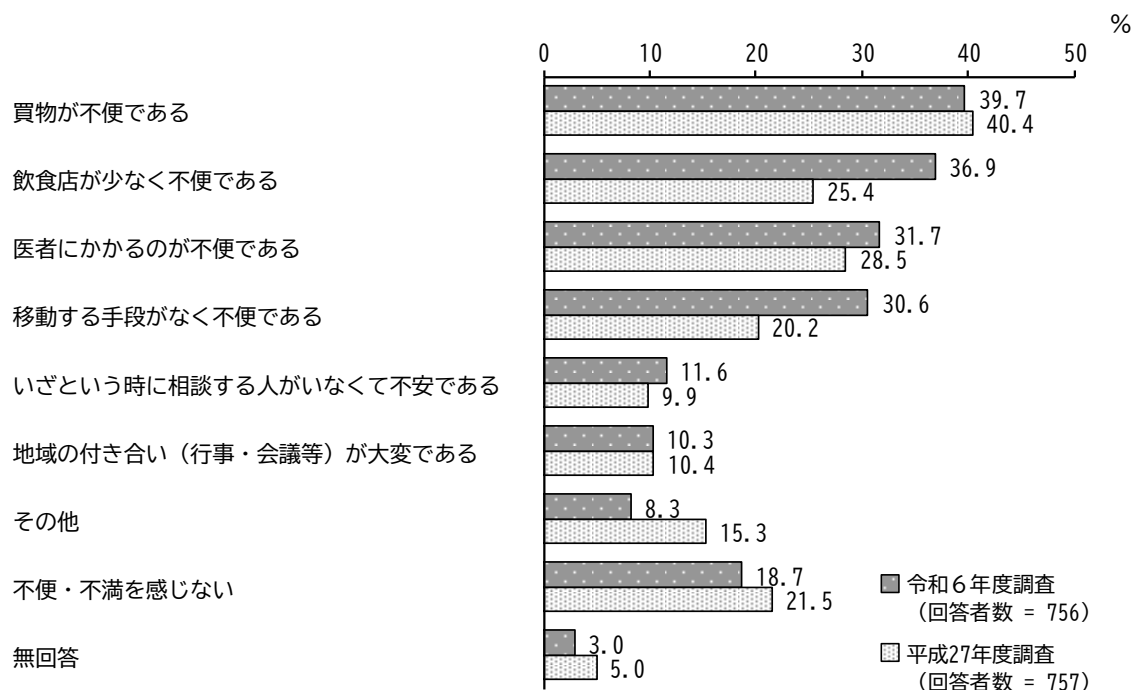
単位：％

区分	回答者数 (件)	外部から企業をも っと誘致すべき	農業・漁業で就 業できる環境を 用意すべき	観光業に力をい れるべき	起業できる環 境を整えるべき	市内の既存企 業が拡大できる よう支援す べき	その他	無 回 答
全 体	756	52.1	40.9	37.3	31.6	29.9	3.2	4.9
若年層	80	55.0	40.0	47.5	33.8	37.5	1.3	1.3
前期中堅層	81	61.7	48.1	43.2	34.6	43.2	3.7	1.2
後期中堅層	170	53.5	40.0	42.9	32.4	28.2	5.3	3.5
前期高齢者	191	54.5	40.3	36.6	30.9	27.2	3.1	3.7
後期高齢者	229	45.0	39.3	28.4	30.1	26.6	2.2	8.7

問 16 あなたは生活する上で不便・不満を感じることはありますか。(〇はいくつでも)

「買物が不便である」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「飲食店が少なく不便である」の割合が 36.9%、「医者にかかるのが不便である」の割合が 31.7%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「飲食店が少なく不便である」「移動する手段がなく不便である」の割合が増加しています。



「その他」意見内容

記述内容	件数
交通の利便性	26
道路の整備・渋滞の緩和	13
公共施設の整備	9
飲食店・商店への要望・苦情	6
行財政改革の実施	4
物価が高い	4
高齢化	3
医療・福祉の充実	2
自治会の運営	2
全てにおいて不満	2
その他の意見（各1件）	7
枯れ葉をそうじするのが大変、自分の体調不良、外来者の迷惑行為、遊べる場所（ゴルフ練習場）がない、教育水準に不安、必要な物はネットで大体完結する、道路で会った人間に気に入られないと睨まれる	
総計	78

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層・前期中堅層・後期中堅層では「飲食店が少なく不便である」、前期高齢者と後期高齢者では「買物が不便である」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「飲食店が少なく不便である」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	買物が不便である	飲食店が少なく不便である	医者にかかるのが不便である	移動する手段がなく不便である	いざという時に相談する人がいなくて不安である	地域の付き合い(行事・会議等)が大変である	その他	不便・不満を感じない	無回答
全 体	756	39.7	36.9	31.7	30.6	11.6	10.3	8.3	18.7	3.0
若年層	80	40.0	52.5	20.0	31.3	8.8	7.5	11.3	20.0	0.0
前期中堅層	81	39.5	49.4	42.0	35.8	9.9	13.6	13.6	9.9	3.7
後期中堅層	170	41.8	43.5	40.0	30.0	14.7	15.3	10.0	14.7	2.9
前期高齢者	191	33.0	32.5	29.3	26.2	9.4	9.9	8.9	22.0	2.6
後期高齢者	229	43.7	26.2	28.8	32.3	12.7	7.0	3.9	21.4	3.9

【居住地域別】

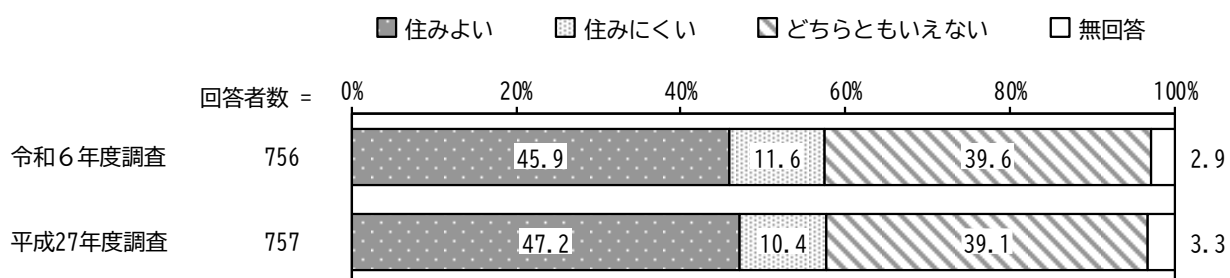
居住地域別にみると、三崎地区と南下浦町では「買物が不便である」、初声町では「飲食店が少なく不便である」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	買物が不便である	飲食店が少なく不便である	医者にかかるのが不便である	移動する手段がなく不便である	いざという時に相談する人がいなくて不安である	地域の付き合い(行事・会議等)が大変である	その他	不便・不満を感じない	無回答
全 体	756	39.7	36.9	31.7	30.6	11.6	10.3	8.3	18.7	3.0
三崎地区	289	46.4	37.7	36.3	37.0	9.3	7.6	8.3	14.5	2.8
南下浦町	269	39.0	33.1	27.9	29.0	14.9	10.4	7.8	21.2	3.3
初声町	191	29.3	40.3	29.8	22.5	10.5	14.7	9.4	21.5	3.1

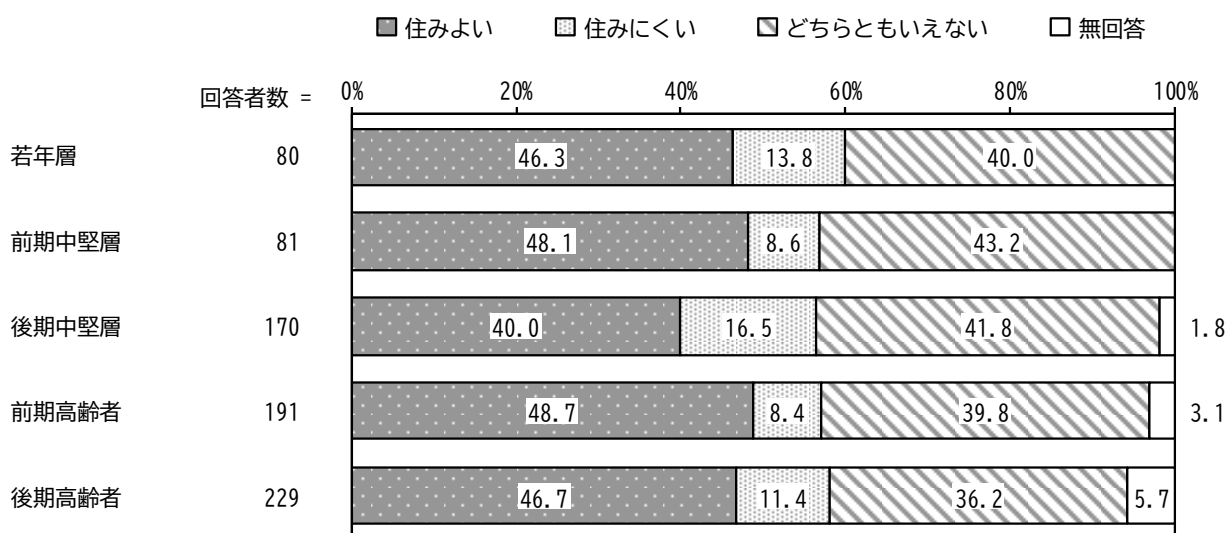
問 17 あなたにとって三浦市は住みよいですか。(○は1つ)

「住みよい」の割合が45.9%、「住みにくい」の割合が11.6%となっています。
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



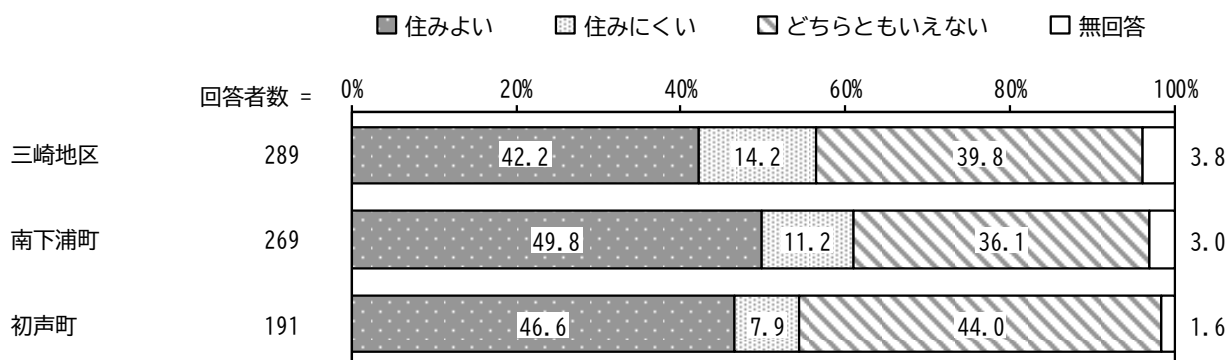
【年齢層別】

年齢層別にみると、後期中堅層では「どちらともいえない」、それ以外の年齢層では「住みよい」の割合が最も高くなっています。また、「住みにくい」の割合は後期中堅層で高くなっています。



【居住地域別】

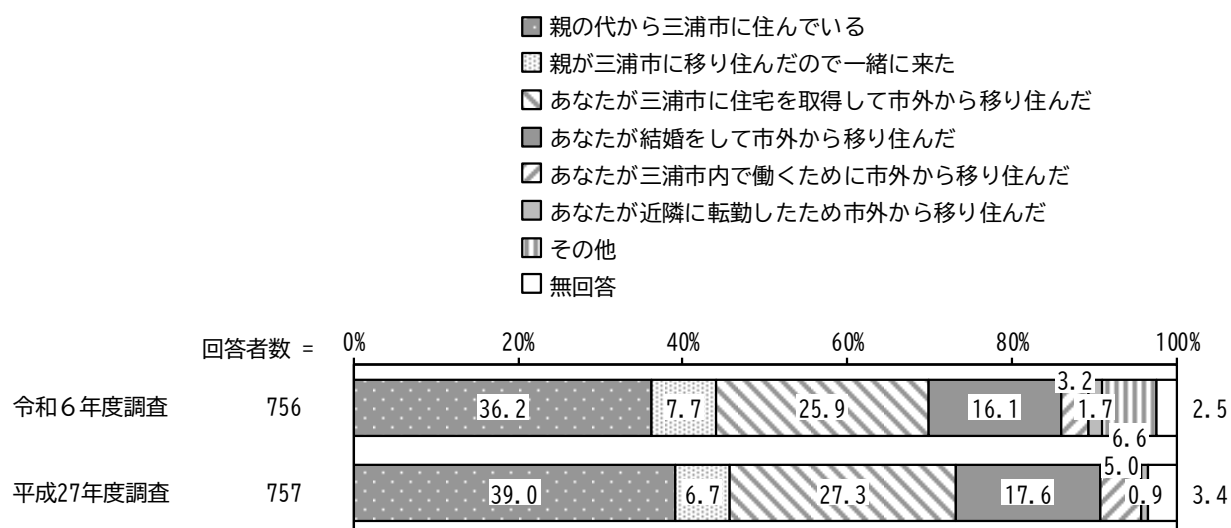
居住地域別にみると、いずれの地域でも「住みよい」の割合が最も高くなっています。また、「住みにくい」の割合は三崎地区で高くなっています。



問 18 あなたが三浦市に住むことになったきっかけは次のうちどれですか。(○は1つ)

「親の代から三浦市に住んでいる」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「あなたが三浦市に住宅を取得して市外から移り住んだ」の割合が 25.9%、「あなたが結婚をして市外から移り住んだ」の割合が 16.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



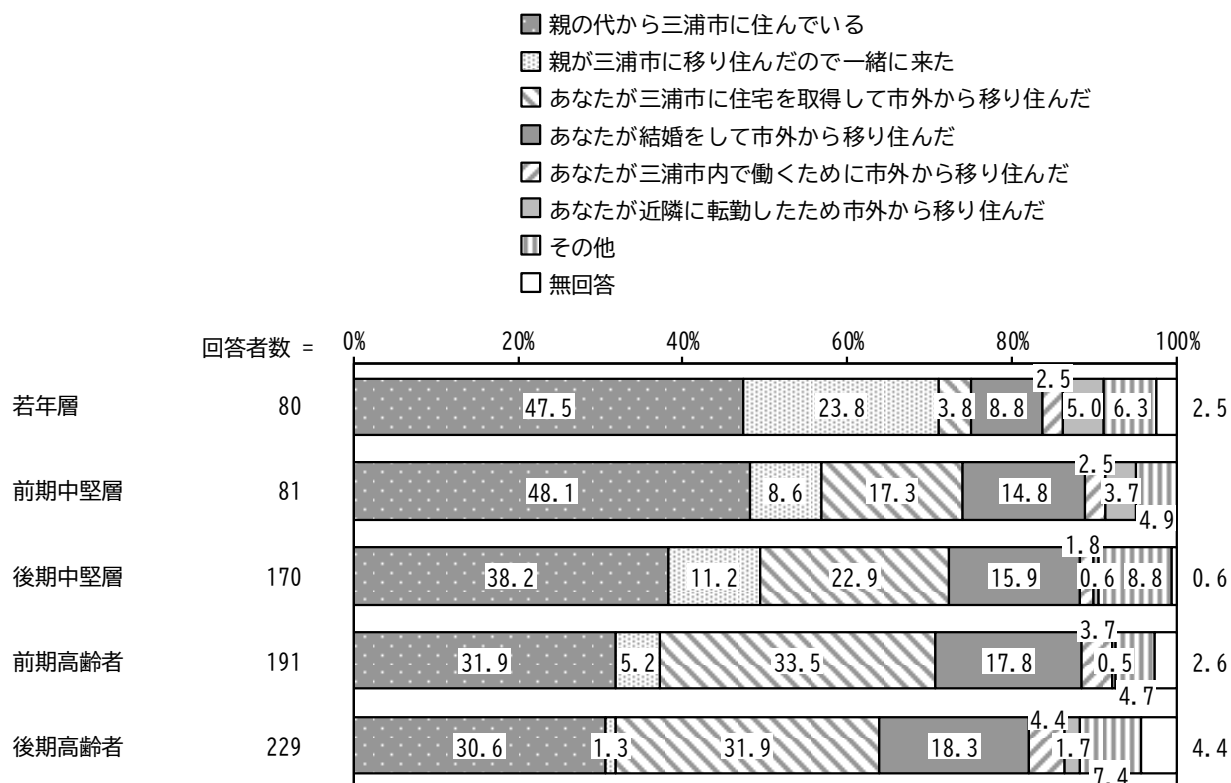
※平成 27 年度調査では、「その他」がありませんでした。

「その他」意見内容

記述内容	件数
自然環境の良さ	14
親と同居・介護のため	8
家を建てたから	7
家族の転勤・転職	6
親がなくなったので	4
家族と同居	4
離婚後	2
子どもと同居	2
(有料)老人ホームに入居	2
趣味(ヨット・乗馬)に便利	2
仕事のため	2
その他の意見(各1件)	6
東京都の区画整理があった、もともと横須賀市か三浦市に住みたいと思っていた、県営に住みたかった、三浦市民の人柄に惹かれた、特に理由は無い、周囲の騒音が激しかった	
総計	59

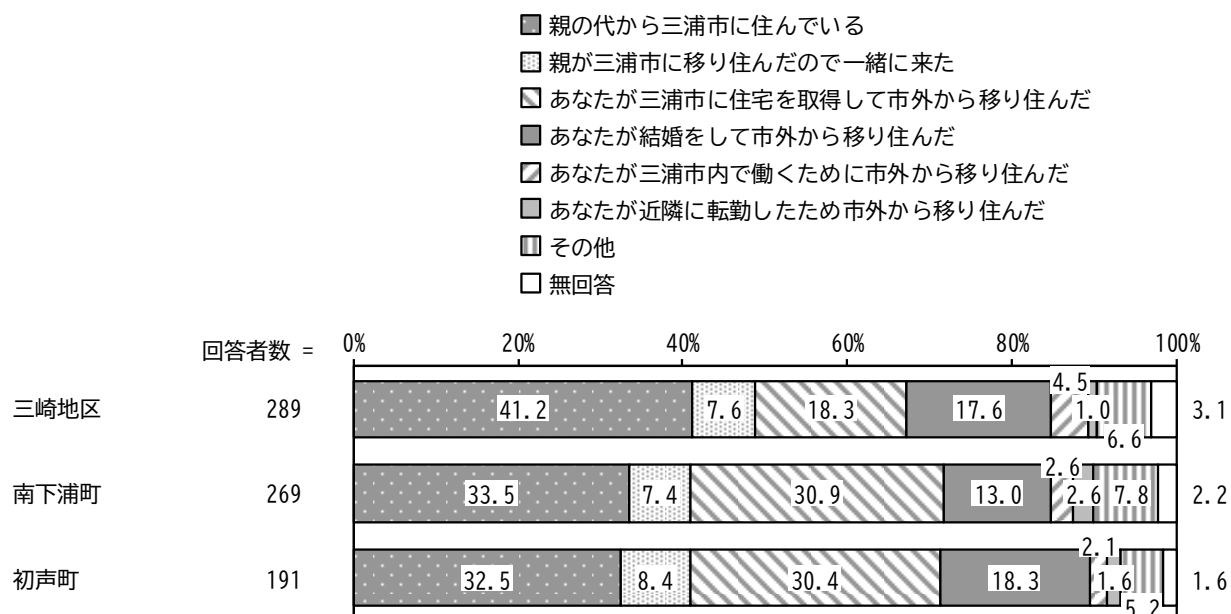
【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層・前期中堅層・後期中堅層では「親の代から三浦市に住んでいる」、前期高齢者と後期高齢者では「あなたが三浦市に住宅を取得して市外から移り住んだ」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「親が三浦市に移り住んだので一緒に来た」の割合が低くなる傾向がみられ、年齢が高いほど「あなたが三浦市に住宅を取得して市外から移り住んだ」の割合が高くなる傾向がみられます。



【居住地域別】

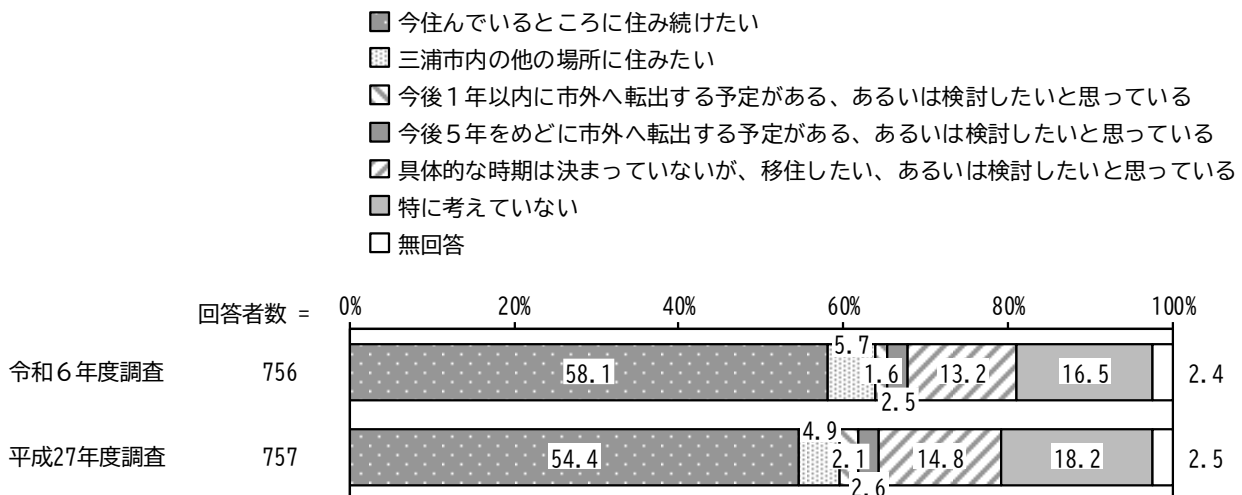
居住地域別にみると、いずれの地域でも「親の代から三浦市に住んでいる」の割合が最も高くなっています。また、南下浦町と初声町では「あなたが三浦市に住宅を取得して市外から移り住んだ」の割合も高くなっています。



問 19 今後、三浦市に住み続けたいですか。(○は1つ)

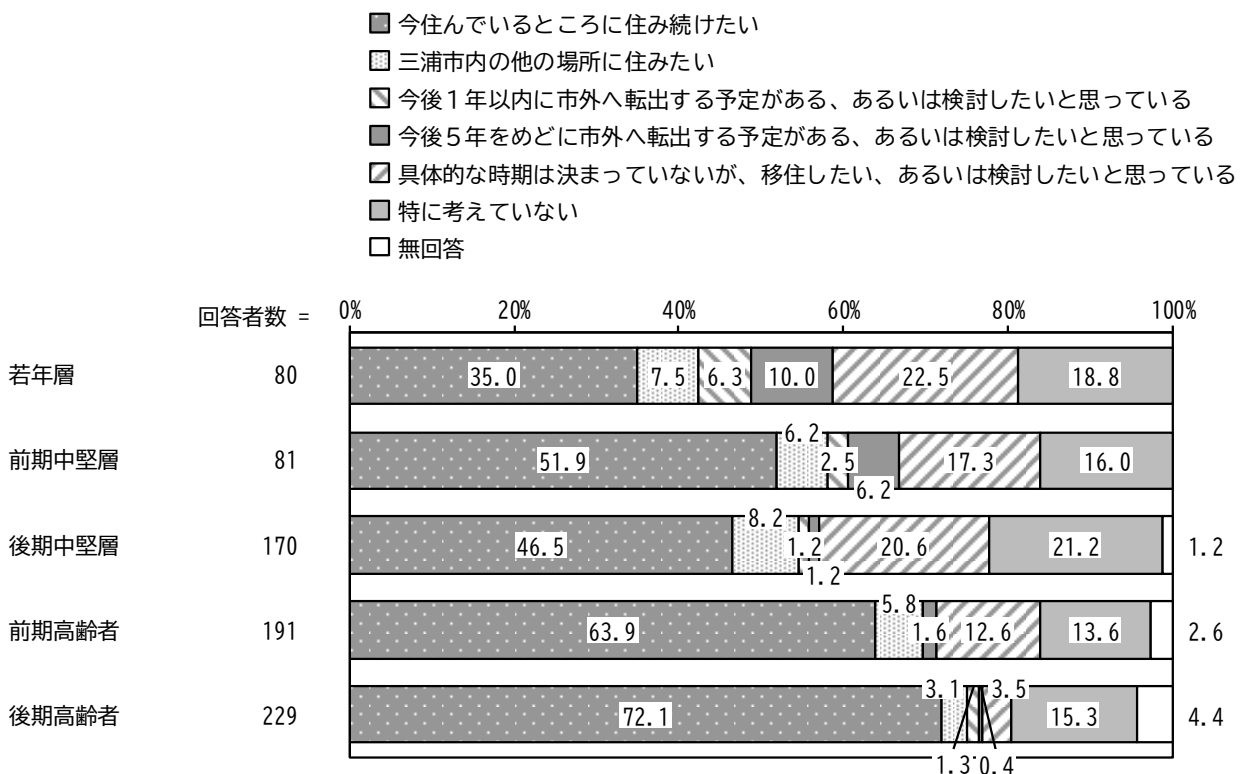
「今住んでいるところに住み続けたい」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「特に考えていない」の割合が 16.5%、「具体的な時期は決まっていないが、移住したい、あるいは検討したいと思っている」の割合が 13.2%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「今住んでいるところに住み続けたい」の割合が増加しています。



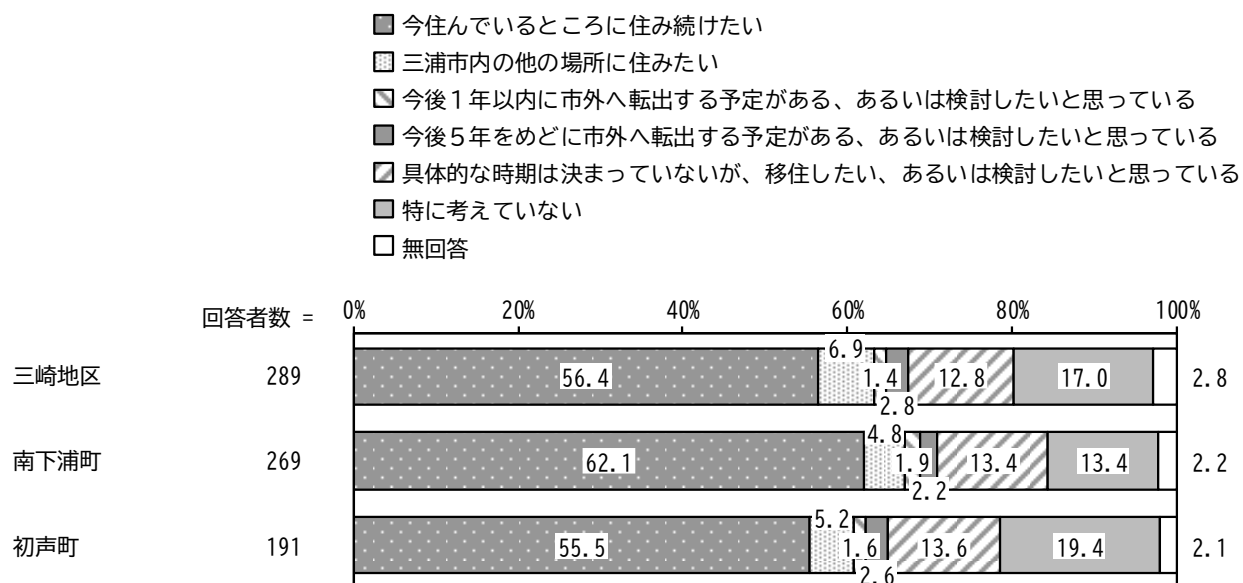
【年齢層別】

年齢層別にみると、いずれの年齢層でも「今住んでいるところに住み続けたい」の割合が最も高くなっており、年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられます。



【居住地域別】

居住地域別にみると、いずれの地域でも「今住んでいるところに住み続けたい」の割合が最も高くなっており、中でも南下浦町は6割を超えています。

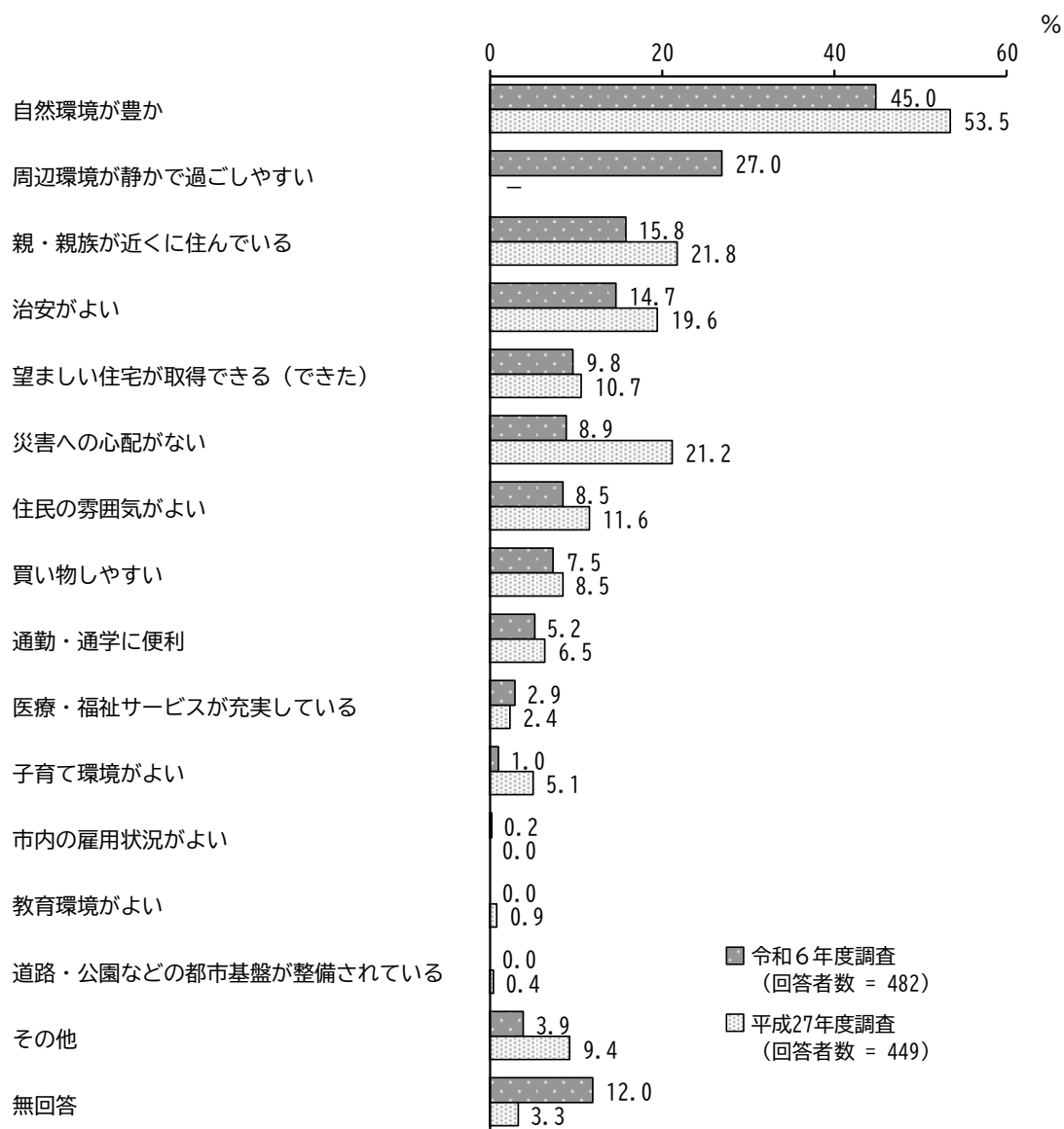


問 19 で「今住んでいるところに住み続けたい」または「三浦市内の他の場所に住みたい」に○をつけた方におたずねします。

問 19－1 三浦市に住み続けたい理由はなんですか。（○は2つまで）

「自然環境が豊か」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「周辺環境が静かで過ごしやすい」の割合が 27.0%、「親・親族が近くに住んでいる」の割合が 15.8%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「災害への心配がない」「自然環境が豊か」「親・親族が近くに住んでいる」の割合が減少しています。



※平成 27 年度調査では、「医療・福祉サービスが充実している」が「福祉サービスが充実している」となっており、「周辺環境が静かで過ごしやすい」がありませんでした。

「その他」意見内容

記述内容	件数
住むのに不便・仕方なく	11
家がある	9
自然環境がよい	7
住み慣れている	2
その他の意見（各1件）	6
西海岸道路の整備が動き出した、子供の通学、人が少なくちょう度よい（都内にいる時はうるさくて疲れた）、仕事が自営業、特に不満がない、車があるという条件付きだが、暮らしていく上で不自由がない	
総計	35

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層では「親・親族が近くに住んでいる」、それ以外の年齢層では「自然環境が豊か」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「親・親族が近くに住んでいる」の割合が低くなる傾向がみられ、年齢が高いほど「周辺環境が静かで過ごしやすい」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自然環境が豊か	周辺環境が静かで過ごしやすい	親・親族が近くに住んでいる	治安がよい	望ましい住宅が取得できる(できた)	災害への心配がない	住民の雰囲気がい	買い物しやすい
全 体	482	45.0	27.0	15.8	14.7	9.8	8.9	8.5	7.5
若年層	34	35.3	14.7	38.2	20.6	17.6	2.9	5.9	5.9
前期中堅層	47	42.6	17.0	36.2	10.6	14.9	4.3	10.6	2.1
後期中堅層	93	40.9	28.0	16.1	19.4	10.8	2.2	4.3	5.4
前期高齢者	133	51.1	28.6	10.5	15.0	9.0	11.3	10.5	9.8
後期高齢者	172	45.3	29.7	9.9	12.2	6.4	12.8	9.3	8.7

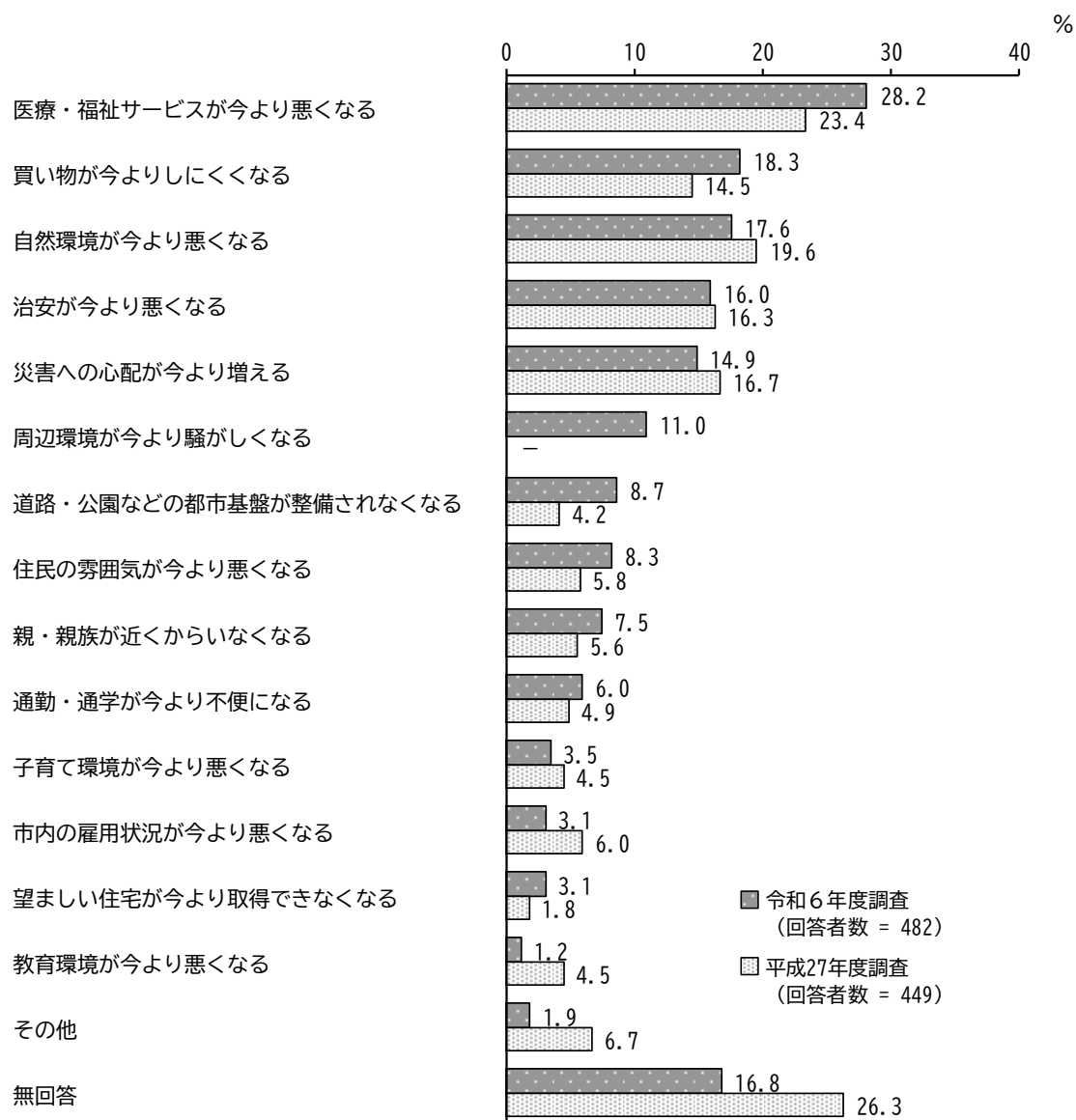
区分	通勤・通学に便利	医療・福祉サービスが充実している	子育て環境がよい	市内の雇用状況がよい	教育環境がよい	道路・公園などの都市基盤が整備されている	その他	無回答
全 体	5.2	2.9	1.0	0.2	0.0	0.0	3.9	12.0
若年層	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	14.7
前期中堅層	14.9	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	6.4	10.6
後期中堅層	7.5	5.4	2.2	0.0	0.0	0.0	3.2	17.2
前期高齢者	5.3	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	6.0	6.8
後期高齢者	1.2	4.1	0.6	0.0	0.0	0.0	1.7	13.4

問 19 で「今住んでいるところに住み続けたい」または「三浦市内の他の場所に住みたい」に○をつけた方におたずねします。

問 19－2 三浦市に住み続けたいという気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。
(○は2つまで)

「医療・福祉サービスが今より悪くなる」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「買い物が今よりしにくくなる」の割合が 18.3%、「自然環境が今より悪くなる」の割合が 17.6%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「医療・福祉サービスが今より悪くなる」「道路・公園などの都市基盤が整備されなくなる」の割合が増加しています。



※平成 27 年度調査では、「医療・福祉サービスが今より悪くなる」が「福祉サービスが今より悪くなる」となっており、「周辺環境が今より騒がしくなる」がありませんでした。

「その他」意見内容

記述内容	件数
特にない（親の代から住んでいる、愛着がある、故郷に帰りたい等）	5
市、自治会、開発に対する不満	4
高齢化	3
外国人が増える	2
自然災害	2
その他の意見（各1件）	5
子供の、乗馬クラブが閉鎖されたら、職場が変わったら、景観に三浦らしさがなくなったら、収入が得られなくなったら	
総計	21

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層と前期中堅層では「治安が今より悪くなる」、後期中堅層・前期高齢者・後期高齢者では「医療・福祉サービスが今より悪くなる」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「通勤・通学が今より不便になる」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	医療・福祉サービスが今より悪くなる	買い物（食料）が今よりしにくくなる	自然環境が今より悪くなる	治安が今より悪くなる	災害への心配が今より増える	周辺環境が今より騒がしくなる	道路・公園などの都市基盤が整備されなくなる	住民の雰囲気が今より悪くなる
全 体	482	28.2	18.3	17.6	16.0	14.9	11.0	8.7	8.3
若年層	34	11.8	17.6	11.8	26.5	11.8	8.8	8.8	0.0
前期中堅層	47	10.6	14.9	19.1	27.7	10.6	4.3	8.5	4.3
後期中堅層	93	33.3	16.1	15.1	20.4	12.9	8.6	6.5	12.9
前期高齢者	133	36.8	16.5	18.8	16.5	14.3	14.3	10.5	9.0
後期高齢者	172	27.3	21.5	18.0	8.1	18.6	11.6	8.7	8.1

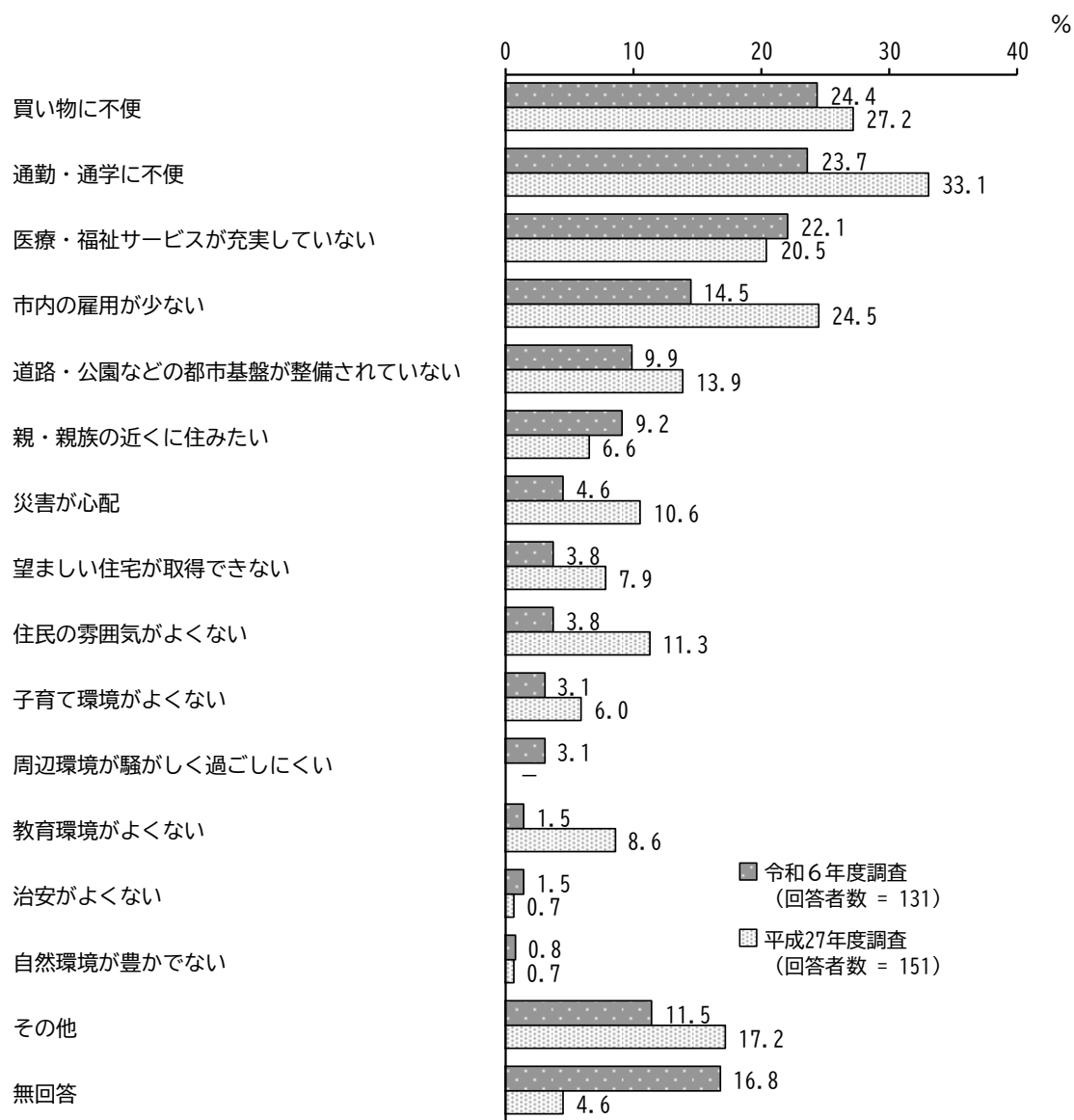
区分	親・親族が近くからいなくなる	通勤・通学が今より不便になる	子育て環境が今より悪くなる	市内の雇用状況が今より悪くなる	望ましい住宅が今より取得できなくなる	教育環境が今より悪くなる	その他	無回答
全 体	7.5	6.0	3.5	3.1	3.1	1.2	1.9	16.8
若年層	14.7	23.5	8.8	2.9	11.8	0.0	0.0	14.7
前期中堅層	17.0	17.0	14.9	6.4	0.0	2.1	2.1	14.9
後期中堅層	8.6	5.4	3.2	2.2	2.2	1.1	3.2	19.4
前期高齢者	4.5	3.0	1.5	2.3	3.0	0.8	2.3	12.8
後期高齢者	5.2	2.3	1.2	3.5	2.9	1.2	1.2	19.8

問 19 で「今後 1 年以内に市外へ転出する予定がある、あるいは検討したいと思っている」～「具体的な時期は決まっていないが、移住したい、あるいは検討したいと思っている」に○をつけた方におたずねします。

問 19－3 三浦市から転出したい理由はなんですか。(○は 2 つまで)

「買い物に不便」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便」の割合が 23.7%、「医療・福祉サービスが充実していない」の割合が 22.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「教育環境がよくない」「災害が心配」「市内の雇用が少ない」「通勤・通学に不便」「住民の雰囲気がよくない」の割合が減少しています。



※平成 27 年度調査では、「医療・福祉サービスが充実していない」が「福祉サービスが充実していない」となっており、「周辺環境が騒がしく過ごしにくい」がありませんでした。

「その他」意見内容

記述内容	件数
高齢化に伴い	7
交通の便が悪い	3
活気がない	3
立ち退き	2
その他の意見（各1件）	10
帰国を考えている、ただ漠然と、周囲の騒音、仕事上の都合、家族の問題、市役所が遠い、海外、実家に帰るか否か、家族の職場の近くに住みたい、他の土地でも暮らしてみたい	
総計	25

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層と前期中堅層では「通勤・通学に不便」、後期中堅層と後期高齢者では「医療・福祉サービスが充実していない」、前期高齢者では「買い物に不便」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「通勤・通学に不便」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	買い物に 不便	通勤・ 通学に 不便	医療・福祉サ ービスが充 実してい ない	市内の雇 用が少な い	道路・公園 などの都 市基盤が 整備され ていない	親・親族 の近くに 住みたい	災害が心 配	望ましい住 宅が取得 できない
全 体	131	24.4	23.7	22.1	14.5	9.9	9.2	4.6	3.8
若年層	31	22.6	54.8	12.9	22.6	9.7	3.2	6.5	0.0
前期中堅層	21	14.3	38.1	9.5	4.8	0.0	9.5	4.8	4.8
後期中堅層	39	17.9	12.8	23.1	17.9	10.3	10.3	5.1	10.3
前期高齢者	27	37.0	3.7	29.6	11.1	14.8	14.8	3.7	0.0
後期高齢者	12	41.7	0.0	50.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0

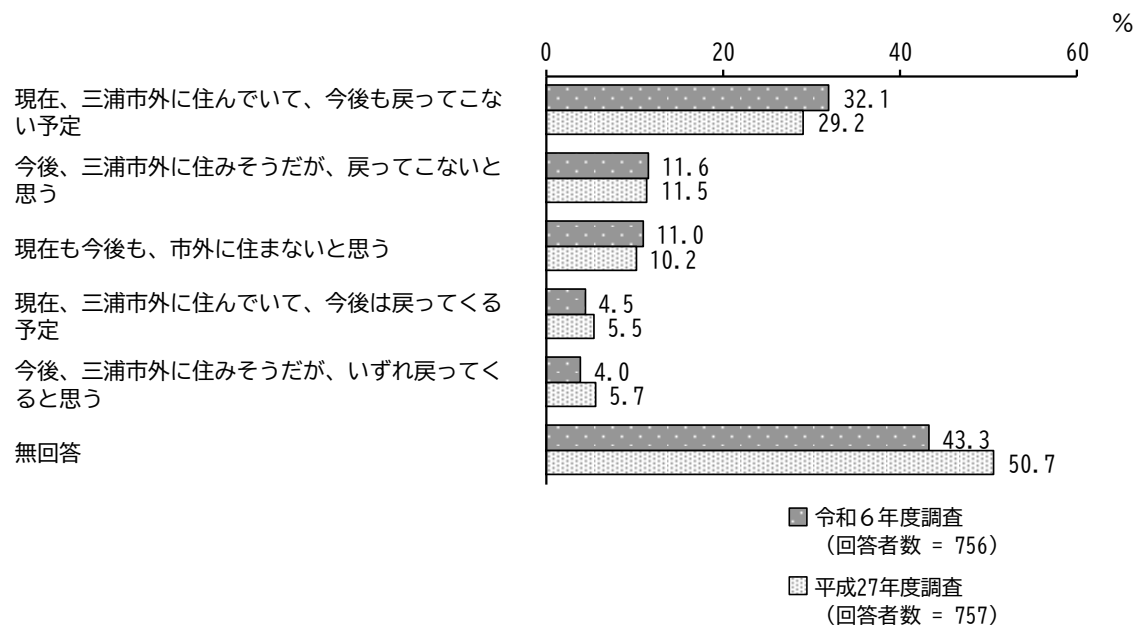
区分	住民の雰 囲気がよ くない	子育て環 境がよくな い	周辺環境 が騒がしく 過剰に ない	教育環境 がよくな い	治安がよ くない	自然環境 が豊かで ない	その他	無回 答
全 体	3.8	3.1	3.1	1.5	1.5	0.8	11.5	16.8
若年層	0.0	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0	6.5	12.9
前期中堅層	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	19.0	23.8
後期中堅層	2.6	5.1	0.0	0.0	2.6	2.6	15.4	20.5
前期高齢者	11.1	0.0	14.8	0.0	0.0	0.0	7.4	11.1
後期高齢者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7

(3) 「Uターン」や「Iターン」について

問 20 あなたの（おおむね 40 歳以下の）兄弟や子ども、孫で以下に該当する方についてお答えください。（該当するものがあればいくつでも）

「現在、三浦市外に住んでいて、今後も戻ってこない予定」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「今後、三浦市外に住みそうだが、戻ってこないと思う」の割合が 11.6%、「現在も今後も、市外に住まないと思う」の割合が 11.0%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



「Uターン」、「Iターン」の予定人数

この設問では該当する人数を回答いただいております。それぞれの予定、可能性の人数を合計すると、「現在、三浦市外に住んでいて、今後も戻ってこない予定」が 476 人と最も多く、次いで「今後市外に転出するが戻ってこない予定」が 116 人、「今後も市内に住み続ける予定」が 83 人、「現在、三浦市外に住んでいて、今後は戻ってくる予定」が 60 人、「今後、三浦市外に住みそうだが、いずれ戻ってくると思う」が 33 人となっています。

「今後も住み続ける 83 人」を除いて、「現在市外に住んでいる 536 人」、「今後市外に転出する 149 人」のうち「戻ってくる 93 人」の割合（Uターン）は 13.6%となっています。

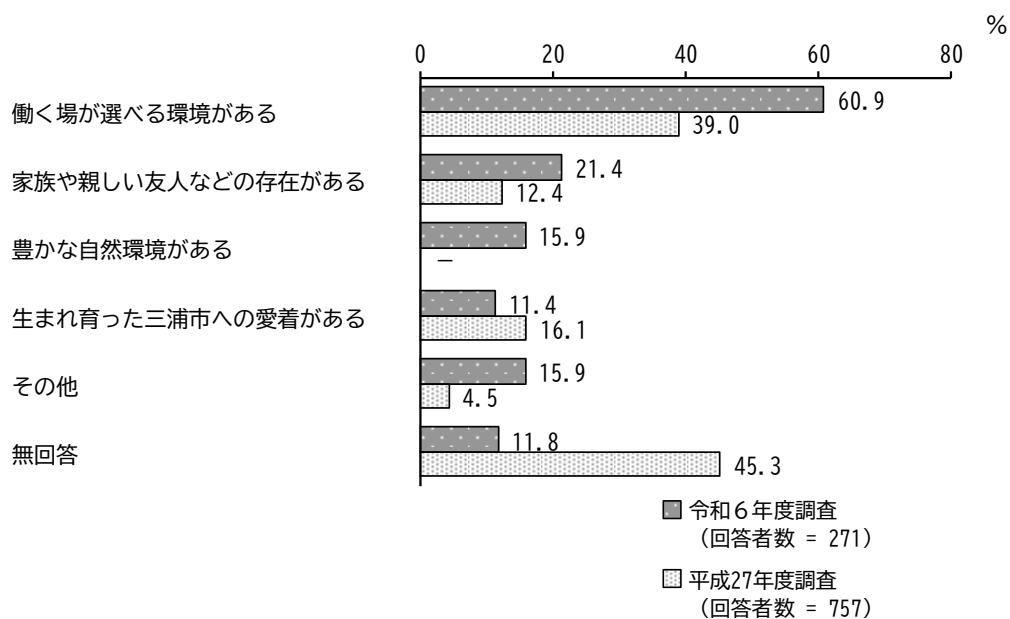
現在市外に住んでいる	536 人
今後戻ってくる予定	60 人
今後も戻ってこない	476 人
現在市内に住んでいる	232 人
今後市外に転出するがいずれ戻ってくる	33 人
今後市外に転出するが戻ってこない	116 人
今後も市内に住み続ける	83 人

問 20 で「現在、三浦市外に住んでいて、今後は戻ってくる予定」または「現在、三浦市外に住んでいて、今後も戻ってこない予定」に○をつけた方におたずねします。

問 20－1 市外に住んでいる兄弟や子ども、孫が戻ってくる（Ｕターン）ために必要なことは何ですか。（○はいくつでも）

「働く場が選べる環境がある」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「家族や親しい友人などの存在がある」の割合が 21.4%、「豊かな自然環境がある」の割合が 15.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「働く場が選べる環境がある」「家族や親しい友人などの存在がある」の割合が増加しています。



※平成 27 年度調査では、「生まれ育った三浦市への愛着がある」が「生まれ育った環境で子育てをしたいと思える三浦市への愛着がある」、「家族や親しい友人などの存在がある」が「三浦市に帰ってくることを待っている家族や友人などの存在がある」となっており、「豊かな自然環境がある」がありませんでした。

「その他」意見内容

記述内容	件数
交通機関の利便性	19
生活の利便性	17
住・教育環境問題	8
住む家がある	3
特になし	2
その他の意見（各 1 件）	5
鎌倉、葉山のようなブランド価値、本人の考え方の問題、戻る必要がない、こない、話したこともない	
総計	54

【年齢層別】

年齢層別にみると、いずれの年齢層でも「働く場が選べる環境がある」の割合が最も高くなっています。また、若年層は「家族や親しい友人などの存在がある」の割合も高くなっています。

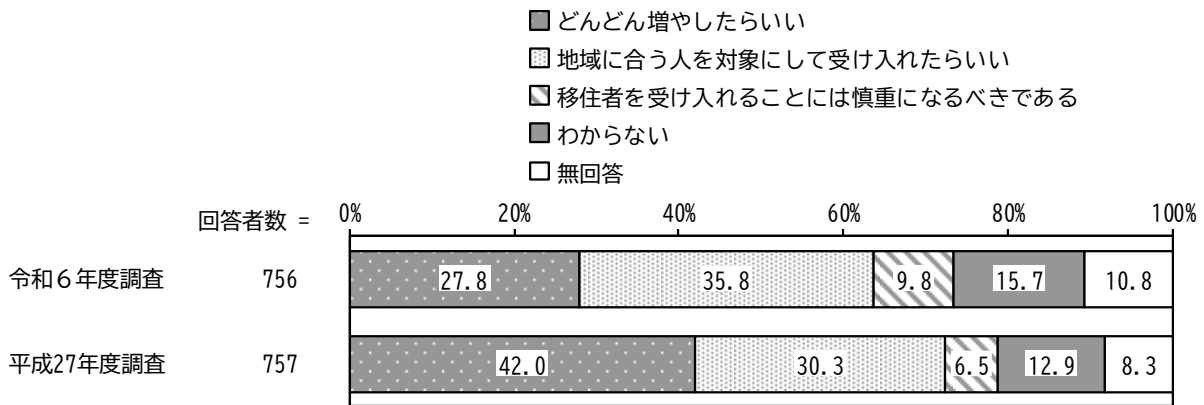
単位：％

区分	回答者数（件）	働く場が選べる環境がある	家族や親しい友人などの存在がある	豊かな自然環境がある	生まれ育った三浦市への愛着がある	その他	無回答
全 体	271	60.9	21.4	15.9	11.4	15.9	11.8
若年層	23	78.3	39.1	17.4	13.0	17.4	8.7
前期中堅層	18	61.1	16.7	5.6	16.7	16.7	11.1
後期中堅層	57	75.4	14.0	14.0	8.8	21.1	3.5
前期高齢者	91	56.0	22.0	11.0	13.2	19.8	13.2
後期高齢者	82	51.2	22.0	24.4	9.8	7.3	17.1

問 21 三浦市を活性化するためには、外部からの移住者（I ターン）を増やすという考え方があります。あなたはこれについてどう思いますか。（○は1つ）

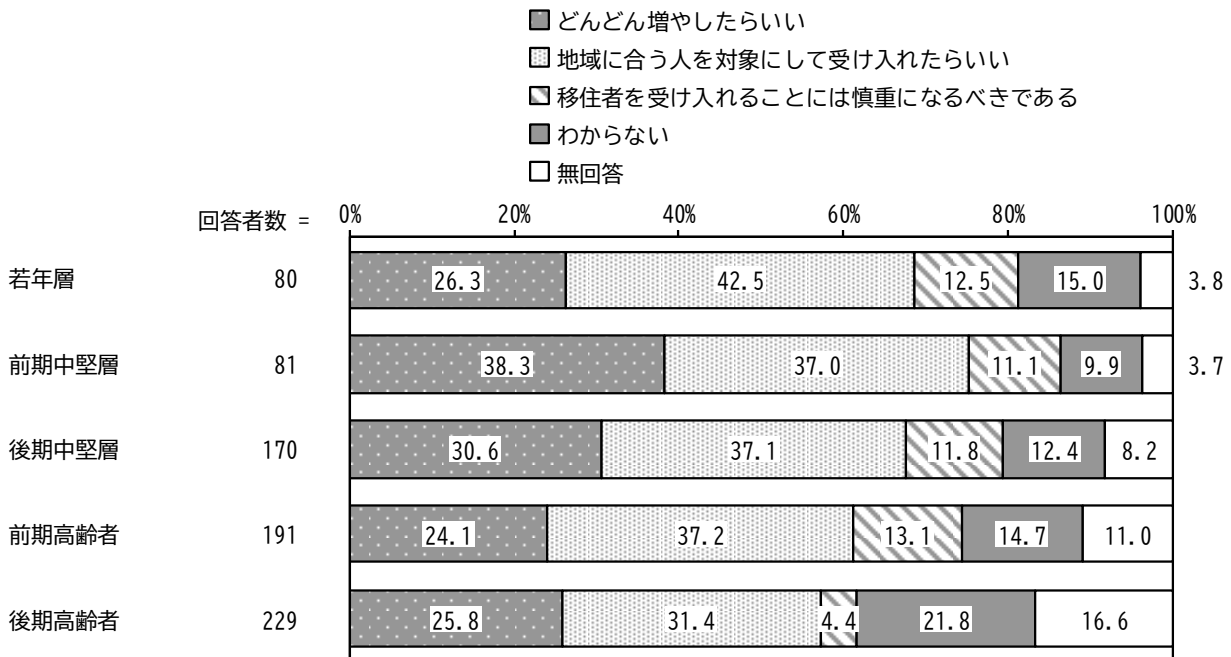
「地域に合う人を対象にして受け入れたらいい」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「どんどん増やしたらいい」の割合が 27.8%、「わからない」の割合が 15.7%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「地域に合う人を対象にして受け入れたらいい」の割合が増加しています。一方、「どんどん増やしたらいい」の割合が減少しています。



【年齢層別】

年齢層別にみると、前期中堅層では「どんどん増やしたらいい」、それ以外の年齢層では「地域に合う人を対象にして受け入れたらいい」の割合が最も高くなっています。また、前期中堅層から前期高齢者にかけて「どんどん増やしたらいい」の割合が低くなる傾向がみられます。

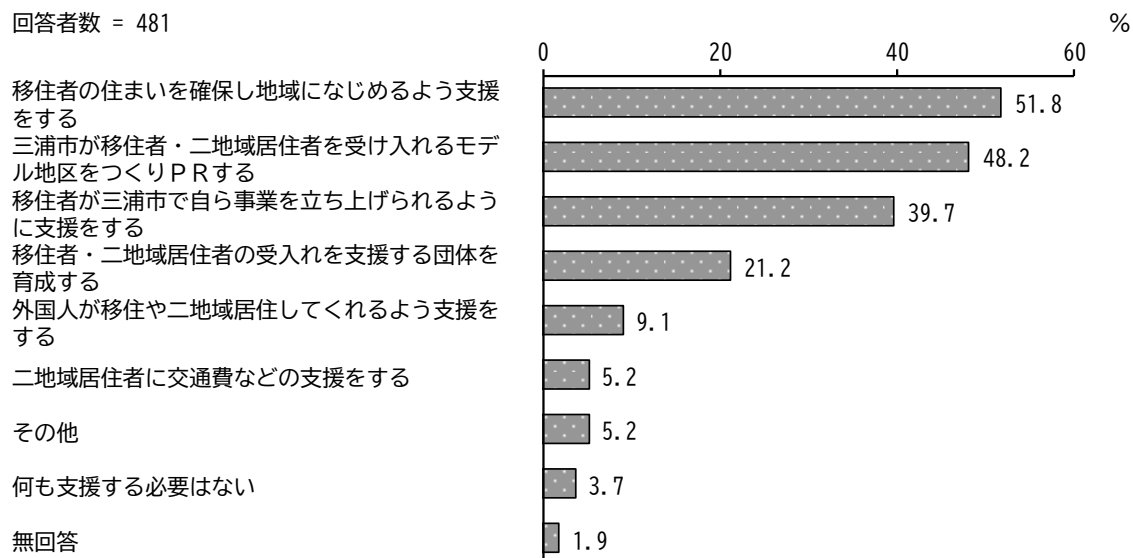


問 21 で「どんどん増やしたらいい」または「地域に合う人を対象にして受け入れたらいい」に○をつけた方におたずねします。

問 21－1 三浦市が移住者（I ターン）や二地域居住者（都心と三浦市の両方に住む人）を増やそうとした場合、どのような支援策があったらよいと思いますか。（○はいくつでも）

「移住者の住まいを確保し地域になじめるよう支援をする」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「三浦市が移住者・二地域居住者を受け入れるモデル地区をつくりPRする」の割合が 48.2%、「移住者が三浦市で自ら事業を立ち上げられるよう支援をする」の割合が 39.7%となっています。

回答者数 = 481



「その他」意見内容

記述内容	件数
行政サービスの充実	7
移住者の支援	6
市民の考え方改善	6
雇用の充実	5
交通・インフラ整備	3
道路の整備	2
総計	29

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層と後期中堅層では「三浦市が移住者・二地域居住者を受け入れるモデル地区をつくりPRする」、前期中堅層・前期高齢者・後期高齢者では「移住者の住まいを確保し地域になじめるよう支援をする」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「三浦市が移住者・二地域居住者を受け入れるモデル地区をつくりPRする」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

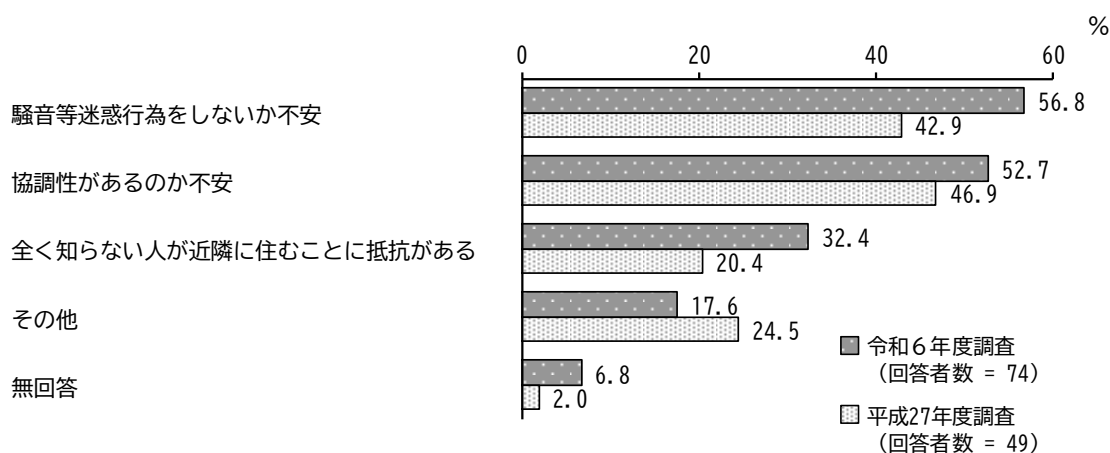
区分	回答者数 (件)	移住者の住まいを確保し地域になじめるよう支援をする	三浦市が移住者・二地域居住者を受け入れるモデル地区をつくりPRする	移住者が三浦市で自ら事業を立ち上げるように支援をする	移住者・二地域居住者の受け入れを支援する団体を育成する	外国人が移住や二地域居住してくれるよう支援をする	二地域居住者に交通費などの支援をする	その他	何も支援する必要はない	無回答
全 体	481	51.8	48.2	39.7	21.2	9.1	5.2	5.2	3.7	1.9
若年層	55	52.7	58.2	36.4	14.5	12.7	12.7	5.5	1.8	1.8
前期中堅層	61	55.7	52.5	45.9	18.0	11.5	6.6	4.9	3.3	1.6
後期中堅層	115	43.5	47.8	37.4	27.0	11.3	6.1	7.0	5.2	0.9
前期高齢者	117	54.7	48.7	40.2	24.8	7.7	1.7	6.0	1.7	1.7
後期高齢者	131	53.4	42.7	40.5	17.6	6.1	3.8	3.1	5.3	3.1

問 21 で「移住者を受け入れることには慎重になるべきである」に○をつけた方におたずねします。

問 21－2 移住者（I ターン）を受け入れられない理由として何があるのかお答えください。（○はいくつでも）

「騒音等迷惑行為をしないか不安」の割合が 56.8%、「協調性があるのか不安」の割合が 52.7%、「全く知らない人が近隣に住むことに抵抗がある」の割合が 32.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「全く知らない人が近隣に住むことに抵抗がある」「協調性があるのか不安」「騒音等迷惑行為をしないか不安」の割合が増加しています。



「その他」意見内容

記述内容	件数
外国人問題	11
治安に不安	2
働く所がない	2
移住者問題	2
トラブル	2
その他の意見（各1件）	3
わからない，交通の便を改善する，偏見を持っている人が多いそう	
総計	22

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層と前期中堅層では「騒音等迷惑行為をしないか不安」、後期中堅層・前期高齢者・後期高齢者では「協調性があるのか不安」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	騒音等迷惑行為を しないか不安	安 協調性があるのか不	全く知らない人が近 隣に住むことに抵抗 がある	その他	無回答
全 体	74	56.8	52.7	32.4	17.6	6.8
若年層	10	90.0	20.0	20.0	30.0	0.0
前期中堅層	9	77.8	66.7	33.3	33.3	0.0
後期中堅層	20	40.0	50.0	30.0	35.0	10.0
前期高齢者	25	56.0	60.0	40.0	0.0	4.0
後期高齢者	10	40.0	60.0	30.0	0.0	20.0

(4) 行政サービスや必要な施策について

問 22 下記の三浦市の取組（施策）23 項目について満足度の高いもの（3つ）と不満足であるもの（3つ）を記入してください。また、10 年後の将来、三浦市が着実に成長できる都市であるためには、財源に限りがある中で、今後重点的に取り組むべきと考えるもの（3つ）を記入してください。（それぞれについて 1～23 の番号を記入してください。）

ア 満足度の高いもの

最も満足度の高いものとして最も多かったのは「自然環境の保全」の割合が 13.0%、次いで「防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上」の割合が 6.2%、「定住の促進」の割合が 4.8%となっています。

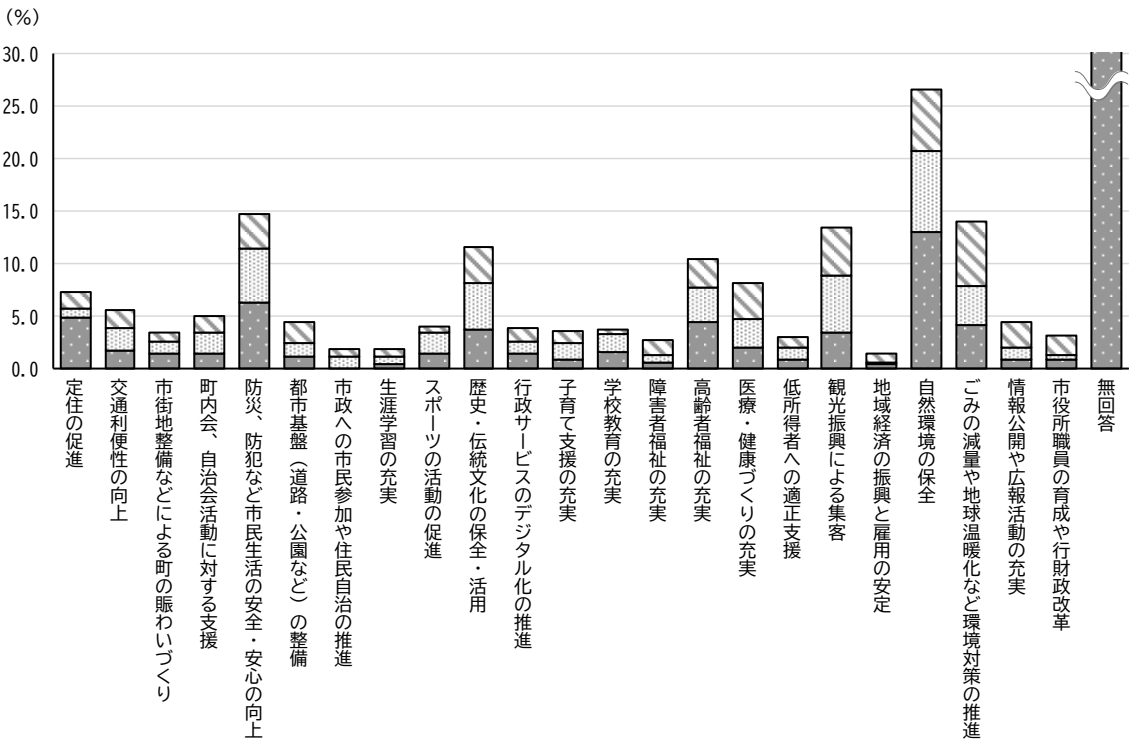
2 番目に満足度の高いものとして最も多かったのは「自然環境の保全」の割合が 7.7%、次いで「観光振興による集客」の割合が 5.4%、「防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上」の割合が 5.2%となっています。

3 番目に満足度の高いものとして最も多かったのは「ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進」の割合が 6.1%、次いで「自然環境の保全」の割合が 5.8%、「観光振興による集客」の割合が 4.6%となっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	市街地整備などによる町の賑わいづくり	町内会、自治会活動に対する支援	防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	自治への市民参加や住民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	市政改革	市役所職員の育成や行財政	無回答
最も満足度の高いもの	756	4.8	1.7	1.3	1.3	6.2	1.1	0.0	0.3	1.3	3.6	1.3	0.8	1.5	0.5	4.4	1.9	0.8	3.4	0.4	13.0	4.1	0.8	0.8	44.8	
2番目に満足度の高いもの	756	0.9	2.1	1.2	2.1	5.2	1.2	1.1	0.8	2.1	4.5	1.2	1.5	1.7	0.7	3.3	2.8	1.1	5.4	0.1	7.7	3.7	1.1	0.4	48.3	
3番目に満足度の高いもの	756	1.5	1.7	0.9	1.6	3.3	2.0	0.7	0.7	0.5	3.4	1.3	1.2	0.5	1.5	2.6	3.4	1.1	4.6	0.8	5.8	6.1	2.4	1.9	50.5	

■ 最も満足度の高いもの ▨ 2 番目に満足度の高いもの ▩ 3 番目に満足度の高いもの



【年齢層別】

(ア) 最も満足度の高いもの

いずれの年齢層でも「自然環境の保全」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「自然環境の保全」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％																											
区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	町の賑わいづくり	市街地整備などによる支援	町内会、自治会活動に活の安全・安心の向上	防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	市政への市民参加や住民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	財政改革	市役所職員の育成や行政改革	無回答
全 体	756	4.8	1.7	1.3	1.3	6.2	1.1	0.0	0.3	1.3	3.6	1.3	0.8	1.5	0.5	4.4	1.9	0.8	3.4	0.4	13.0	4.1	0.8	0.8	44.8		
若年層	80	3.8	5.0	2.5	1.3	6.3	2.5	0.0	1.3	1.3	6.3	1.3	1.3	2.5	0.0	3.8	1.3	0.0	10.0	0.0	23.8	0.0	3.8	2.5	20.0		
前期中堅層	81	7.4	1.2	1.2	1.2	11.1	1.2	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	1.2	0.0	3.7	1.2	6.2	2.5	0.0	4.9	1.2	17.3	3.7	1.2	0.0	28.4	
後期中堅層	170	2.4	0.0	0.0	0.0	6.5	1.8	0.0	0.0	0.0	1.2	5.3	0.6	2.9	0.6	0.6	4.1	1.8	1.2	4.1	0.0	19.4	4.7	0.0	0.6	42.4	
前期高齢者	191	5.2	2.1	2.6	1.6	5.8	1.0	0.0	0.5	0.5	3.1	2.1	0.0	2.1	0.5	4.2	2.1	1.6	2.6	0.5	9.4	8.9	1.0	0.5	41.9		
後期高齢者	229	5.2	1.7	0.4	2.2	4.8	0.0	0.0	0.0	1.7	2.2	1.3	0.0	0.4	0.4	4.4	1.7	0.4	0.9	0.4	6.1	1.3	0.0	0.9	63.3		

単位：％

(イ) 2番目に満足度の高いもの

若年層では「観光振興による集客」、前期中堅層・後期中堅層・後期高齢者では「自然環境の保全」、前期高齢者では「防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「観光振興による集客」「自然環境の保全」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％																												
区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	町の賑わいづくり	市街地整備などによる対する支援	町内会、自治会活動に活の安全・安心の向上	防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	全・活用	歴史・伝統文化の保	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	財政改革	市役所職員の育成や行政改革	無回答
全 体	756	0.9	2.1	1.2	2.1	5.2	1.2	1.2	1.1	0.8	2.1	4.5	1.2	1.5	1.7	0.7	3.3	2.8	1.1	5.4	0.1	7.7	3.7	1.1	0.4	48.3		
若年層	80	1.3	2.5	0.0	3.8	5.0	2.5	0.0	1.3	0.0	8.8	0.0	1.3	2.5	1.3	3.8	2.5	2.5	15.0	1.3	12.5	2.5	0.0	1.3	28.8			
前期中堅層	81	0.0	4.9	0.0	0.0	4.9	2.5	1.2	1.2	2.5	6.2	1.2	6.2	4.9	0.0	2.5	0.0	0.0	7.4	0.0	12.3	4.9	1.2	0.0	35.8			
後期中堅層	170	1.2	1.2	2.4	2.4	4.7	0.0	0.6	1.2	4.7	6.5	1.8	1.2	0.0	0.6	2.4	1.2	0.6	4.1	0.0	8.2	4.1	1.8	0.0	49.4			
前期高齢者	191	1.0	2.1	1.0	2.1	7.3	1.6	2.6	1.0	2.1	3.1	1.0	1.6	1.6	1.0	4.2	5.8	0.5	4.7	0.0	6.8	5.8	1.6	0.0	41.4			
後期高齢者	229	0.9	1.7	1.3	2.2	3.9	0.9	0.4	0.0	0.9	2.2	0.9	0.0	1.3	0.4	3.5	2.6	1.7	3.1	0.0	4.8	1.7	0.4	0.9	64.2			

単位：％

(ウ) 3番目に満足度の高いもの

若年層では「観光振興による集客」、前期中堅層・後期中堅層・後期高齢者では「ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進」、前期高齢者では「自然環境の保全」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「観光振興による集客」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％																												
区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	町の賑わいづくり	市街地整備などによる対する支援	町内会、自治会活動に活の安全・安心の向上	防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	全・活用	歴史・伝統文化の保	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	実療・健康づくりの充	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	財政改革	市役所職員の育成や行政改革	無回答
全 体	756	1.5	1.7	0.9	1.6	3.3	2.0	0.7	0.7	0.5	3.4	1.3	1.2	0.5	1.5	2.6	3.4	3.4	1.1	4.6	0.8	5.8	6.1	2.4	1.9	50.5		
若年層	80	0.0	2.5	1.3	3.8	1.3	5.0	0.0	1.3	0.0	7.5	1.3	0.0	0.0	6.3	5.0	1.3	0.0	12.5	1.3	7.5	3.8	3.8	1.3	33.8			
前期中堅層	81	1.2	1.2	1.2	1.2	3.7	3.7	1.2	1.2	0.0	6.2	3.7	2.5	1.2	0.0	3.7	2.5	0.0	6.2	1.2	6.2	8.6	2.5	0.0	40.7			
後期中堅層	170	3.5	1.8	1.2	1.2	4.7	1.8	0.0	0.0	1.2	2.9	1.2	0.0	0.6	0.6	1.8	1.8	1.2	5.9	0.6	4.7	6.5	3.5	2.4	51.2			
前期高齢者	191	0.5	2.6	0.5	1.6	5.2	2.1	1.0	1.6	1.0	3.1	0.5	1.6	0.5	0.5	1.6	6.8	0.5	3.1	0.5	9.4	7.3	1.6	2.1	44.5			
後期高齢者	229	1.3	0.9	0.9	1.3	1.3	0.0	0.9	0.0	0.0	1.7	1.3	1.7	0.4	1.7	2.6	3.1	2.2	1.7	0.9	3.1	4.8	1.7	2.2	64.2			

単位：％

【年齢層別】

(ア) 最も不満足であるもの

いずれの年齢層でも「交通利便性の向上」の割合が最も高くなっています。また、前期中堅層から後期高齢者にかけて「都市基盤（道路・公園など）の整備」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	町の賑わいづくり	市街地整備などによる 対する支援	町内会、自治会活動に 対する支援	防災、防犯など市民 生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園 など）の整備	民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	全・活用	歴史・伝統文化の保 全・活用	行政サービスのデジタ ル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充 実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用 の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖 化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の 充実	財政改革	市役所職員の育成や行 政改革	無回答
全 体	756	2.9	15.7	5.7	1.1	2.0	6.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.1	2.1	3.3	1.9	0.9	3.8	4.2	2.4	2.2	6.7	0.5	0.7	0.7	3.0	31.1		
若年層	80	5.0	16.3	6.3	0.0	2.5	7.5	3.8	1.3	1.3	1.3	0.0	1.3	7.5	5.0	0.0	0.0	5.0	3.8	1.3	8.8	1.3	1.3	2.5	2.5	16.3		
前期中堅層	81	3.7	18.5	4.9	1.2	2.5	14.8	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	3.7	16.0	1.2	1.2	3.7	1.2	2.5	2.5	3.7	0.0	0.0	0.0	4.9	11.1		
後期中堅層	170	2.9	20.0	6.5	1.2	2.4	5.3	0.0	0.6	1.2	0.0	0.0	3.5	2.4	2.4	1.2	2.9	7.1	1.8	2.9	7.6	0.0	0.6	0.6	4.7	22.4		
前期高齢者	191	3.7	18.3	7.3	1.6	2.1	5.2	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.0	1.6	2.1	4.2	4.2	3.7	2.6	7.9	1.0	0.5	0.5	2.1	26.7		
後期高齢者	229	0.9	9.2	3.9	0.9	1.3	5.2	0.4	0.9	0.9	0.9	0.0	1.3	0.0	0.9	0.0	5.7	3.1	1.3	1.7	5.7	0.4	0.9	0.4	2.2	52.8		

(イ) 2番目に不満足であるもの

若年層では「医療・健康づくりの充実」、前期中堅層では「都市基盤（道路・公園など）の整備」、後期中堅層と後期高齢者では「交通利便性の向上」、前期高齢者では「高齢者福祉の充実」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「医療・健康づくりの充実」の割合が低く、前期中堅層から後期高齢者にかけて「交通利便性の向上」「都市基盤（道路・公園など）の整備」「子育て支援の充実」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	町の賑わいづくり	市街地整備などによる	町内会、自治会活動に対する支援	防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	市民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	全・活用	歴史・伝統文化の保護	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	財政改革	市役所職員の育成や行政改革	無回答
																												率（％）
全 体	756	2.5	8.2	5.6	1.3	1.7	7.1	0.7	1.3	0.5	0.8	1.6	3.4	3.6	1.2	5.0	5.8	1.9	3.4	5.0	1.6	0.5	0.8	2.4	34.0			
若年層	80	2.5	8.8	7.5	1.3	0.0	6.3	0.0	2.5	1.3	0.0	3.8	6.3	6.3	0.0	3.8	10.0	6.3	3.8	7.5	1.3	0.0	1.3	1.3	18.8			
前期中堅層	81	2.5	11.1	2.5	0.0	1.2	13.6	0.0	2.5	0.0	1.2	1.2	11.1	3.7	1.2	6.2	9.9	2.5	2.5	9.9	0.0	1.2	1.2	1.2	13.6			
後期中堅層	170	3.5	9.4	5.9	1.8	3.5	8.2	0.6	1.2	0.6	0.0	1.8	2.9	3.5	1.2	4.1	7.1	1.2	4.7	5.3	2.4	1.2	1.2	4.1	24.7			
前期高齢者	191	2.1	8.4	7.3	1.6	1.0	7.3	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0	3.1	2.6	2.6	8.9	4.2	1.6	4.7	5.8	1.0	0.0	0.5	3.1	29.3			
後期高齢者	229	2.2	6.1	3.9	1.3	1.3	4.4	0.9	0.9	0.4	1.3	1.3	0.4	3.5	0.4	2.6	3.5	0.9	1.7	1.7	2.2	0.4	0.4	1.3	56.8			

(ウ) 3番目に不満足であるもの

若年層では「交通利便性の向上」、前期中堅層では「医療・健康づくりの充実」、後期中堅層では「地域経済の振興と雇用の安定」、前期高齢者と後期高齢者では「都市基盤（道路・公園など）の整備」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「交通利便性の向上」の割合が低くなる傾向がみられ、前期中堅層から後期高齢者にかけて「医療・健康づくりの充実」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	町の賑わいづくり	市街地整備などによる	町内会、自治会活動に対する支援	防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	市民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	全・活用	歴史・伝統文化の保護	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	財政改革	市役所職員の育成や行政	無回答
																												率立：%
全 体	756	2.0	5.6	4.4	1.3	2.8	6.7	0.5	1.5	0.8	1.1	3.4	2.5	2.6	1.1	2.9	6.2	2.0	3.0	5.2	1.6	1.5	1.5	2.9	37.0			
若年層	80	5.0	11.3	5.0	0.0	3.8	6.3	0.0	2.5	1.3	1.3	2.5	6.3	3.8	2.5	1.3	10.0	3.8	1.3	5.0	1.3	1.3	0.0	2.5	22.5			
前期中堅層	81	4.9	8.6	4.9	0.0	1.2	4.9	0.0	1.2	0.0	0.0	6.2	4.9	8.6	1.2	1.2	13.6	1.2	6.2	4.9	1.2	2.5	1.2	4.9	16.0			
後期中堅層	170	1.8	4.7	7.1	0.6	5.3	7.1	0.6	0.0	0.6	0.6	4.7	2.4	2.9	0.6	1.8	5.9	1.8	4.1	10.0	1.2	2.9	1.2	3.5	28.8			
前期高齢者	191	0.5	4.7	3.7	2.6	3.7	7.3	0.0	2.1	2.1	2.1	2.6	2.6	2.6	0.5	6.8	5.8	3.7	2.6	4.7	1.6	1.6	1.6	1.6	33.0			
後期高齢者	229	1.3	3.5	2.6	1.7	0.4	7.0	1.3	1.7	0.0	0.9	2.6	0.4	0.0	1.3	1.7	3.1	0.4	2.2	2.2	2.2	0.0	2.2	2.6	58.5			

ウ 重点的に取り組むべきこと

最も重点的に取り組むべきこととして最も多かったのは「交通利便性の向上」の割合が9.8%、次いで「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が9.5%、「定住の促進」の割合が7.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が減少しています。

2番目に重点的に取り組むべきこととして最も多かったのは「医療・健康づくりの充実」「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が7.1%、次いで「交通利便性の向上」の割合が7.0%となっています。

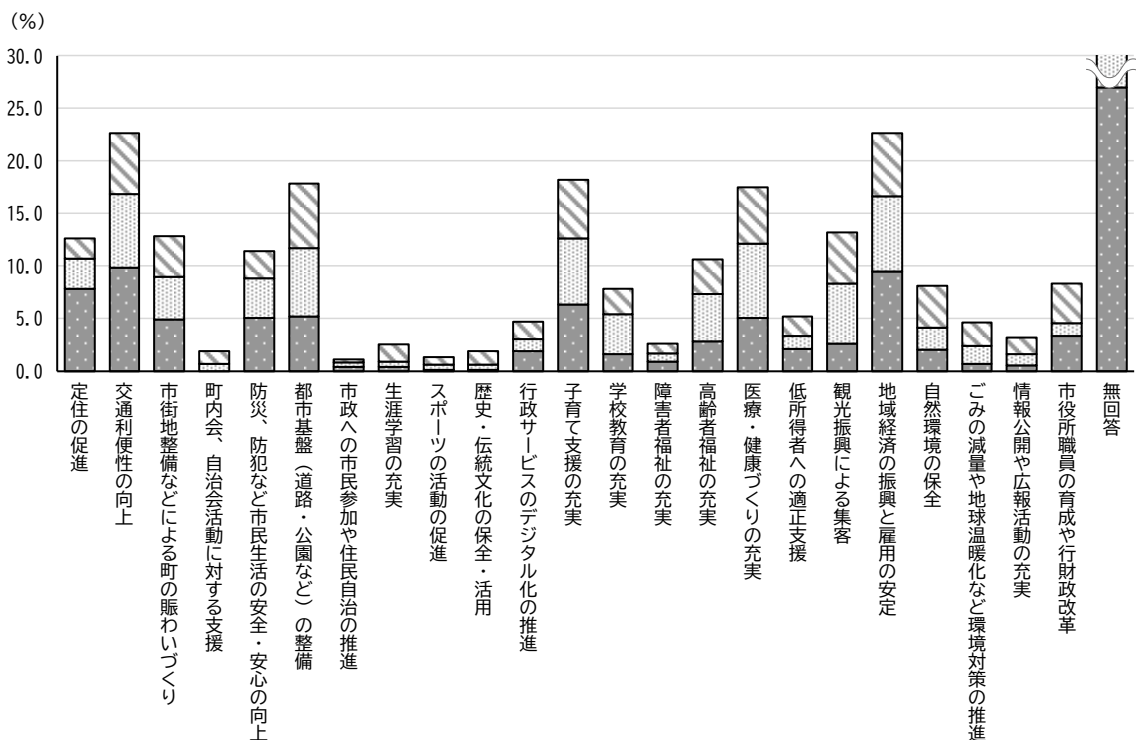
平成27年度調査と比較すると、「医療・健康づくりの充実」の割合が増加しています。

3番目に重点的に取り組むべきこととして最も多かったのは「都市基盤（道路・公園など）の整備」の割合が6.1%、次いで「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が6.0%、「交通利便性の向上」の割合が5.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「医療・健康づくりの充実」の割合が増加しています。

単位：％																										
区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	市街地整備などによる町の賑わいづくり	町内会、自治会活動に対する支援	防災・防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	自治への市民参加や住民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	市政改革	市役所職員の育成や行財政改革	無回答
最も重点的に取り組むべきこと	756	7.8	9.8	4.9	0.0	5.0	5.2	0.4	0.4	0.1	0.1	1.9	6.3	1.6	0.9	2.8	5.0	2.1	2.6	9.5	2.0	0.7	0.5	3.3	27.0	
2番目に重点的に取り組むべきこと	756	2.9	7.0	4.1	0.7	3.8	6.5	0.4	0.5	0.5	0.5	1.1	6.3	3.8	0.8	4.5	7.1	1.2	5.7	7.1	2.1	1.7	1.1	1.2	29.2	
3番目に重点的に取り組むべきこと	756	1.9	5.8	3.8	1.2	2.6	6.1	0.3	1.6	0.7	1.3	1.7	5.6	2.4	0.9	3.3	5.4	1.9	4.9	6.0	4.0	2.2	1.6	3.8	31.1	

■ 最も重点的に取り組むべきこと ▨ 2番目に重点的に取り組むべきこと ▩ 3番目に重点的に取り組むべきこと

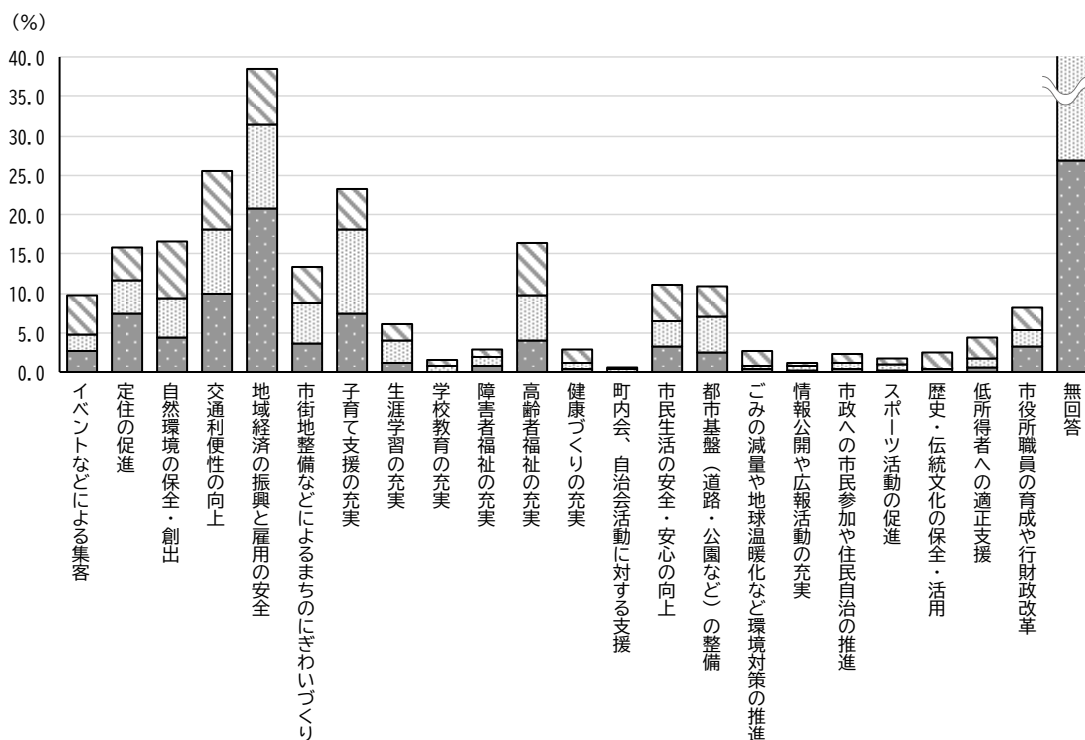


(平成 27 年度調査結果)

単位：％

区分	回答者数（件）	イベントなどによる集客	定住の促進	自然環境の保全・創出	交通利便性の向上	安全	地域経済の振興と雇用の安全	市街地整備などによるまちのにぎわいづくり	子育て支援の充実	生涯学習の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	健康づくりの充実	町内会、自治会活動に対する支援	向上	市民生活の安全・安心の整備	都市基盤（道路・公園など）の整備	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	市政への市民参加や住民自治の推進	スポーツ活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	低所得者への適正支援	市政改革	市役所職員の育成や行財政	無回答
最も重点的に取り組むべきこと	757	2.6	7.5	4.4	10.0	20.7	3.6	7.4	1.1	0.0	0.7	4.1	0.3	0.0	3.3	2.5	0.4	0.1	0.4	0.1	0.3	0.5	3.2	26.8			
2番目に重点的に取り組むべきこと	757	2.1	4.1	5.0	8.2	10.8	5.2	10.8	2.9	0.7	1.3	5.7	0.9	0.3	3.2	4.5	0.4	0.7	0.8	0.1	1.3	2.2	28.1				
3番目に重点的に取り組むべきこと	757	5.0	4.2	7.1	7.4	7.0	4.5	5.0	2.1	0.8	0.9	6.5	1.7	0.3	4.5	3.8	1.8	0.4	1.1	0.8	2.1	2.5	2.8	27.6			

■ 最も重点的に取り組むべきこと ▨ 2番目に重点的に取り組むべきこと ▩ 3番目に重点的に取り組むべきこと



※平成 27 年度調査では、「防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上」が「市民生活の安全・安心の向上」、「医療・健康づくりの充実」が「健康づくりの充実」、「自然環境の保全」が「自然活況の保全・創出」となっており、「行政サービスのデジタル化の推進」、「観光振興による集客」がありませんでした。

【年齢層別】

(ア) 最も重点的に取り組むべきこと

若年層と前期中堅層では「子育て支援の充実」、後期中堅層では「交通利便性の向上」、前期高齢者と後期高齢者では「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が最も高くなっています。また、前期中堅層から後期高齢者にかけて「子育て支援の充実」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	市街地整備などによる町の賑わいづくり	町内会、自治会活動に対する支援	防災・防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	市政への市民参加や住民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	気候変動対策の推進	情報公開や広報活動の充実	財政改革	市役所職員の育成や行政	無回答
全 体	756	7.8	9.8	4.9	0.0	5.0	5.2	0.4	0.4	0.1	0.1	1.9	6.3	1.6	0.9	2.8	5.0	2.1	2.6	9.5	2.0	0.7	0.5	3.3	27.0	
若年層	80	10.0	8.8	5.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	2.5	0.0	0.0	11.3	6.3	2.5	10.0	0.0	0.0	1.3	1.3	16.3	
前期中堅層	81	7.4	12.3	7.4	0.0	4.9	12.3	0.0	1.2	0.0	0.0	6.2	16.0	2.5	1.2	2.5	3.7	2.5	1.2	3.7	0.0	0.0	0.0	6.2	8.6	
後期中堅層	170	5.3	19.4	6.5	0.0	4.1	4.7	0.0	0.6	0.6	0.0	3.5	5.3	0.6	1.8	2.4	5.9	1.2	4.7	7.6	2.9	0.0	0.6	4.1	18.2	
前期高齢者	191	10.5	7.3	4.2	0.0	6.3	4.7	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	5.2	1.0	1.0	4.2	5.2	1.6	2.1	14.7	2.6	1.6	0.5	3.1	22.5	
後期高齢者	229	7.0	4.4	3.5	0.0	4.4	3.1	0.9	0.4	0.0	0.0	0.9	2.6	2.2	0.4	3.1	2.6	1.7	1.7	8.7	2.2	0.9	0.4	2.2	46.7	

(イ) 2番目に重点的に取り組むべきこと

若年層と前期中堅層では「子育て支援の充実」、後期中堅層では「医療・健康づくりの充実」、前期高齢者では「観光振興による集客」、後期高齢者では「交通利便性の向上」「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高いほど「交通利便性の向上」「子育て支援の充実」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	市街地整備などによる町の賑わいづくり	町内会、自治会活動に対する支援	防災・防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	市政への市民参加や住民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	気候変動対策の推進	情報公開や広報活動の充実	財政改革	市役所職員の育成や行政	単位：％
																										無回答
全 体	756	2.9	7.0	4.1	0.7	3.8	6.5	0.4	0.5	0.5	0.5	1.1	6.3	3.8	0.8	4.5	7.1	1.2	5.7	7.1	2.1	1.7	1.1	1.2	29.2	
若年層	80	7.5	12.5	5.0	0.0	3.8	5.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	6.3	0.0	5.0	7.5	1.3	3.8	1.3	1.3	2.5	0.0	1.3	21.3	
前期中堅層	81	4.9	8.6	7.4	2.5	3.7	6.2	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	12.3	2.5	0.0	3.7	8.6	1.2	8.6	9.9	2.5	0.0	0.0	2.5	13.6	
後期中堅層	170	2.4	6.5	5.3	1.2	3.5	8.8	0.0	1.8	1.8	0.0	2.9	3.5	5.9	0.6	1.2	9.4	1.8	5.9	8.8	2.9	2.4	1.8	1.2	20.6	
前期高齢者	191	2.1	5.2	4.7	0.5	2.6	6.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	7.9	4.2	2.1	7.9	5.8	1.0	8.9	7.9	2.6	1.6	1.0	2.1	23.0	
後期高齢者	229	1.7	6.6	1.3	0.0	5.2	5.7	0.4	0.0	0.0	0.9	0.9	2.6	1.7	0.4	4.4	6.1	0.4	2.6	6.6	0.9	1.7	1.3	0.0	48.5	

(ウ) 3番目に重点的に取り組むべきこと

若年層では「子育て支援の充実」、前期中堅層では「交通利便性の向上」、後期中堅層では「都市基盤（道路・公園など）の整備」「地域経済の振興と雇用の安定」、前期高齢者では「都市基盤（道路・公園など）の整備」、後期高齢者では「医療・健康づくりの充実」の割合が最も高くなっています。また、若年層から前期高齢者にかけて「子育て支援の充実」「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	町の賑わいづくり	市街地整備などによる	町内会、自治会活動に対する支援	防災・防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	市民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	気候変動対策の推進	情報公開や広報活動の充実	財政改革	市役所職員の育成や行	無回答
																											率：％
全 体	756	1.9	5.8	3.8	1.2	2.6	6.1	0.3	1.6	0.7	1.3	1.7	5.6	2.4	0.9	3.3	5.4	1.9	4.9	6.0	4.0	2.2	1.6	3.8	31.1		
若年層	80	1.3	5.0	2.5	0.0	1.3	2.5	1.3	1.3	2.5	1.3	5.0	13.8	5.0	1.3	1.3	3.8	1.3	5.0	10.0	2.5	1.3	3.8	6.3	21.3		
前期中堅層	81	2.5	13.6	4.9	0.0	1.2	8.6	1.2	1.2	0.0	1.2	4.9	6.2	2.5	1.2	4.9	4.9	2.5	6.2	9.9	2.5	3.7	1.2	1.2	13.6		
後期中堅層	170	1.8	5.3	6.5	1.8	4.1	7.6	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	4.7	1.2	1.2	5.3	4.1	1.8	4.7	7.6	7.1	2.4	0.6	2.4	24.1		
前期高齢者	191	2.6	5.2	3.7	2.1	4.2	8.9	0.0	1.6	1.0	1.6	2.1	2.6	3.1	0.5	2.6	6.8	2.1	5.2	3.1	5.2	2.6	1.0	6.3	25.7		
後期高齢者	229	1.3	3.9	2.2	0.9	1.3	2.6	0.0	0.9	0.4	0.0	0.4	5.7	1.7	0.9	2.6	6.1	1.7	4.4	4.4	1.7	1.7	2.2	3.1	49.8		

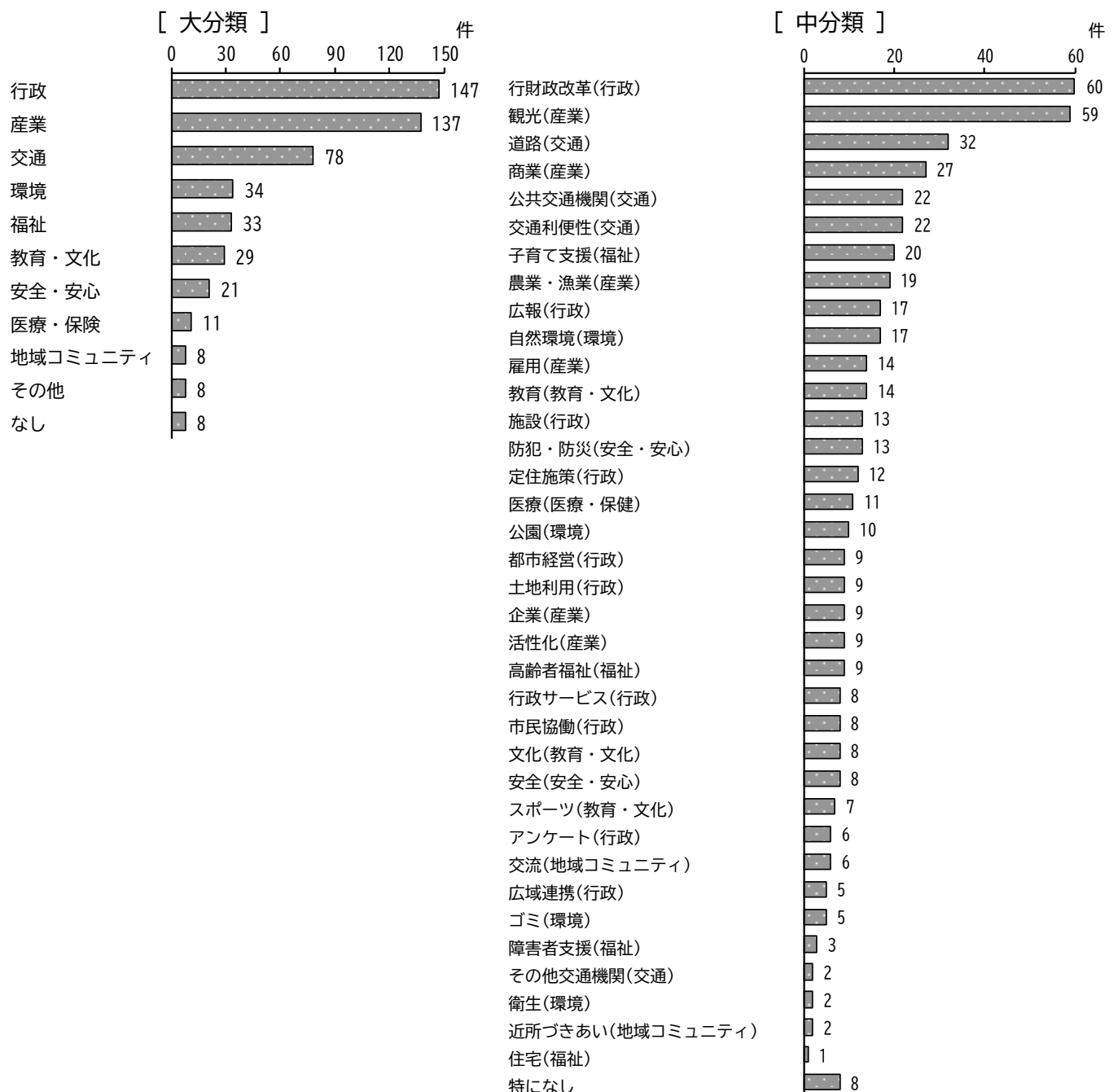
問 23 三浦市が今後も活力あるまちであり続けるために、ご意見やご提案をご記入ください。(自由記載)

三浦市についての意見や提案として、248 件の具体的な記述があり、計 514 件の意見が出されました。

大分類別の内訳としては、「行政」147 件、「産業」137 件、「交通」78 件、「環境」34 件、「福祉」33 件、「教育・文化」29 件、「安全・安心」21 件、「医療・保健」11 件、「地域コミュニティ」8 件、「その他」8 件、「なし」8 件となっており、行政に対する意見が最も多くなっています。

中分類を見ると、「行政」の「行財政改革」が 60 件で最も多くなっています。以下、「産業」の「観光」(59 件)、「交通」の「道路」(32 件)、「産業」の「商業」(27 件) などとなっています。

さらに個別に小分類の内容を見ると、最も多く出されていたのは「道路整備」(「交通－道路」)「交通利便性の向上」(「交通－交通利便性」)15 件、「防犯・災害の対策」(「安全・安心－防犯・防災」)12 件 などとなっています。(次ページ表を参照)



記述内容		件数	記述内容		件数
行政	行政	147	交通		78
	行財政改革	60	道路		32
	行財政改革の実施	11	道路整備		15
	税金の有効活用	7	渋滞の緩和		9
	税金等の見直し	6	歩道の整備		6
	議員数の削減	5	高速道路の延伸		2
	職員の資質向上	5	公共交通機関		22
	窓口業務等のデジタル化	4	バス路線の整備		11
	議員・職員への若い人材の登用	4	鉄道網の整備		4
	外国人受け入れの制限	4	バスの改善		4
	議員の資質向上	3	電車とバスの連携		2
	満足できる施策がない	3	駅の整備		1
	町内会の維持・改善	2	交通利便性		22
	議員・職員のモチベーション向上	1	交通利便性の向上		15
	経費の削減	1	駐車場の整備・充実		5
	職員は三浦市在住とすべき	1	都心へのアクセスの改善		2
	議員報酬の削減	1	その他交通機関		2
	職員の増員	1	車以外の移動手段の充実		2
	施策の見直し	1	環境		34
	広報	17	自然環境		17
	魅力をアピールすべき	9	豊かな自然環境を活かしたまちづくり		10
	PRの充実	6	自然環境の保全		7
	メディア利用のプロモーション	1	公園		10
	イメージアップ戦略	1	公園の整備、充実		10
	施設	13	ゴミ		5
	公共施設の整備	5	ゴミ問題の解決		3
	市役所の移転	4	街の美化、清掃		1
	空き家の有効活用	4	ゴミ分別の見直し		1
	定住施策	12	衛生		2
	若者の定住促進	4	下水道の整備		2
	他県の人にアピールする施策	4	福祉		33
	定年後の定住促進	1	子育て支援		20
	富裕層の定住促進	1	子育て支援の充実		7
	Uターン支援	1	子どもの遊び場		7
	安全な賃貸住宅の建設	1	若者が定住できるような子育て支援策		5
	都市経営	9	手当の拡充		1
	活気のあるまちづくり	3	高齢者福祉		9
	魅力あるまちづくり	3	高齢者が定住できる福祉の充実		7
	身の丈に合った都市経営	2	健康・長寿施策の充実		1
	活力がない	1	高齢者の生活利便性向上		1
	土地利用	9	障害者支援		3
	土地の有効活用	8	障害者福祉の充実		2
	市街化地域の見直し	1	障害者施設の増設		1
	行政サービス	8	住宅		1
	行政サービスの充実	7	手当の拡充		1
	出張所の設置	1	教育・文化		29
	市民協働	8	教育		14
	住民意見の聴取・反映	6	学校教育の充実		7
	外部人材の登用、意見の活用	1	教育環境の整備		6
	市民参画の促進	1	大学誘致		1
	アンケート	6	文化		8
	アンケート手法の見直し	3	文化的施設・企画の充実		4
	アンケートは無意味だと思う	2	郷土文化の継承		3
	実行することに意味がある	1	図書館の整備		1
	広域連携	5	スポーツ		7
	三浦半島全体を視野に入れた政策	5	スポーツ施設の充実		3
産業	産業	137	スポーツの振興		2
	観光	59	スポーツイベントの改善		2
	観光の拡充、リゾート施設充実	10	安全・安心		21
	娯楽施設の充実	10	防犯・防災		13
	道の駅	8	防犯・災害の対策		12
	新しい観光資源の発掘	6	防災情報発信の拡充		1
	自然、海を活かした観光	5	安全		8
	さくらまつり	5	治安維持		7
	駅周辺の魅力化	5	子どもの安全		1
	イベント	4	医療・保健		11
	トイレの整備	3	医療		11
	季節を問わない観光対策	2	病院・医療体制の充実		11
	城ヶ島の観光	1	地域コミュニティ		8
	商業	27	交流		6
	駅周辺の商業振興	8	交流できる場所が必要		4
	商店街の活性化	8	交流ができる企画の充実		2
	商業の振興	6	近所づきあい		2
	大型店舗の誘致	5	閉鎖的な人が多い		1
	農業・漁業	19	親密な関係を築けている		1
	農業、漁業の復興	11	なし		8
	農畜水産物の販路充実	4	特になし		8
	若者の就労支援、農業体験	4	特になし		8
	雇用	14	その他		8
	雇用の創出	9	その他		8
	若者が働く場の創出	4	その他		8
	障害者雇用の充実	1	総計		514
	企業	9			
	企業誘致	7			
	先端企業の誘致	2			
	活性化	9			
	産業の活性化	5			
	産業の育成	4			

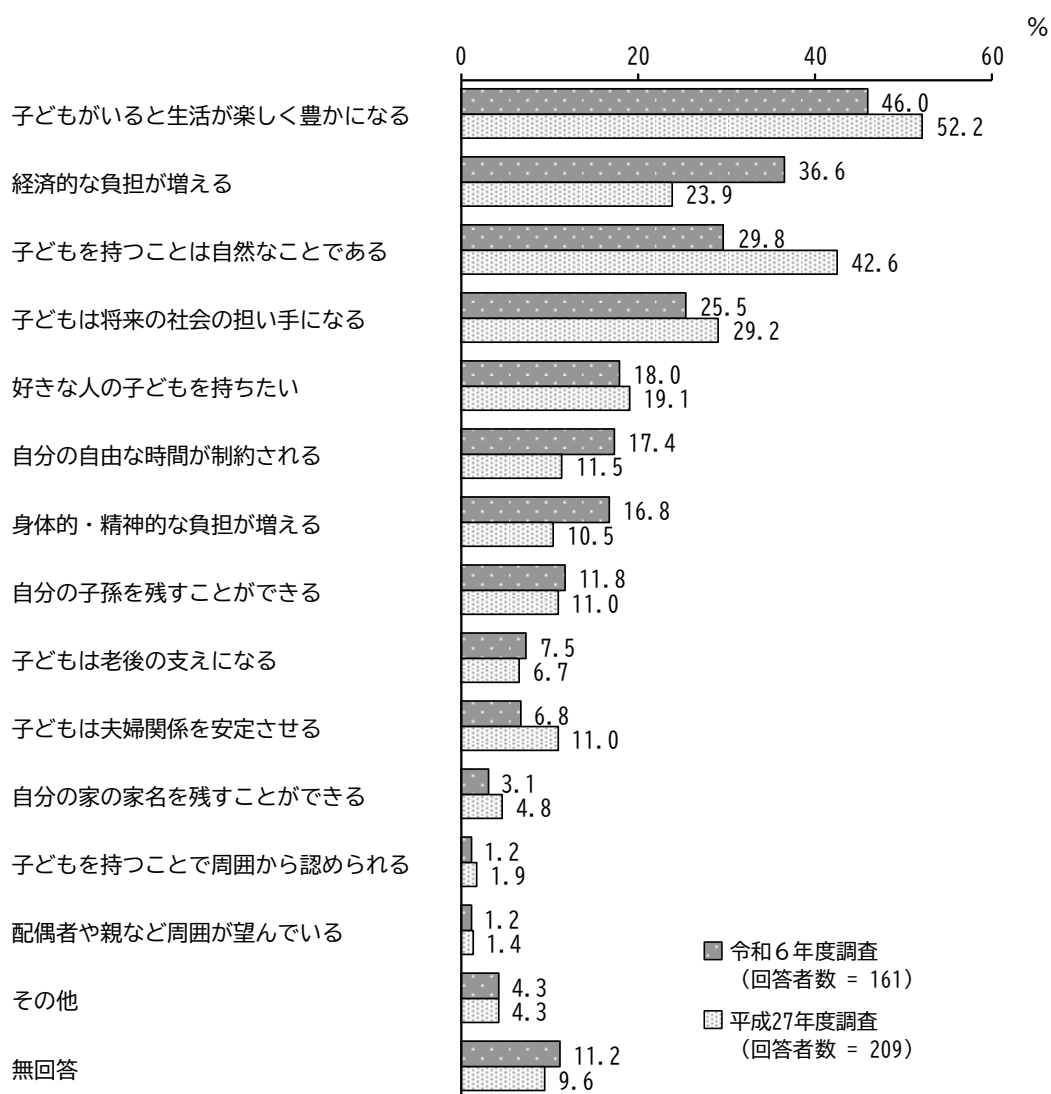
(5) 出産・子育てについて

問 24 から問 27 は、10 代～40 代のすべての方にお聞きします。

問 24 子どもを持つことについての考え方を教えてください。あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は3つまで)

「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「経済的な負担が増える」の割合が 36.6%、「子どもを持つことは自然なことである」の割合が 29.8%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「自分の自由な時間が制約される」「経済的な負担が増える」「身体的・精神的な負担が増える」の割合が増加しています。一方、「子どもを持つことは自然なことである」「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」の割合が減少しています。



※平成 27 年度調査では、「好きな人の子どもを持ちたい」が「好きな人の子どもを持ちたいから子どもを持つ」、「配偶者や親など周囲が望んでいる」が「配偶者や親など周囲が望むから子どもを持つ」となっていました。

「その他」意見内容

記述内容	件数
育児をサポートしてくれる人が必要。母親の病気の時、誰が子供の世話をしてくれる	1
子供が苦手	1
幸せそのもの	1
責任をもてない	1
自由意志。子を望む望まないにかかわらず、第3者が圧力をかけてしまうのはさけるべき	1
仕事に影響がある	1
子供を持たない選択もまた自然である	1
子どもが絶対に欲しいとは思っていない	1
総計	8

【性別】

性別で分けてみると、男性では「経済的な負担が増える」、女性では「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」の割合が最も高くなっています。また、男性では「子どもを持つことは自然なことである」、「自分の子孫を残すことができる」、「経済的な負担が増える」の割合が女性より高く、女性では「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」の割合が男性より高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもがいると生活 が楽しく豊かになる	経済的な負担が増え る	子どもを持つことは 自然なことである	子どもは将来の社会 の担い手になる	好きな人の子どもを 持ちたい	自分の自由な時間が 制約される	身体的・精神的な負 担が増える
全 体	161	46.0	36.6	29.8	25.5	18.0	17.4	16.8
男性	61	32.8	39.3	34.4	27.9	14.8	14.8	14.8
女性	96	56.3	33.3	27.1	25.0	20.8	18.8	16.7

区分	自分の子孫を残すこ とができる	子どもは老後の支え になる	子どもは夫婦関係を 安定させる	自分の家の家名を残 すことができる	子どもを持つことで 周囲から認められる	配偶者や親など周囲 が望んでいる	その他	無回答
全 体	11.8	7.5	6.8	3.1	1.2	1.2	4.3	11.2
男性	19.7	6.6	6.6	4.9	0.0	1.6	1.6	14.8
女性	7.3	8.3	7.3	2.1	2.1	1.0	6.3	8.3

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層・前期中堅層とも「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」の割合が最も高くなっています。また、若年層では「子どもは老後の支えになる」、「好きな人の子どもを持ちたい」、「身体的・精神的な負担が増える」の割合が前期中堅層より高くなっています。

単位：％

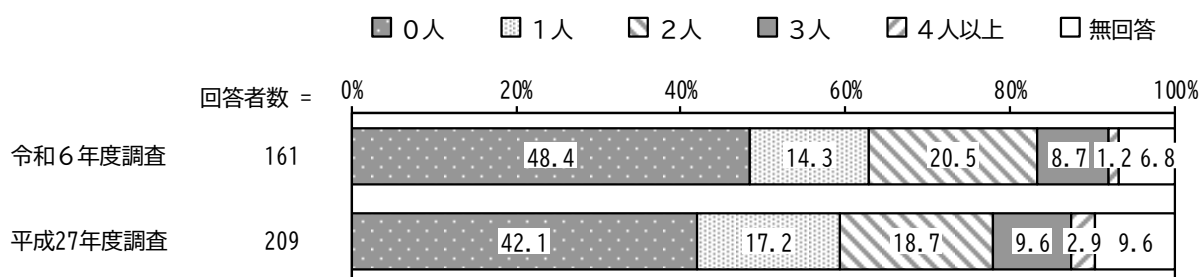
区分	回答者数 (件)	子どもがいると生活 が楽しく豊かになる	経済的な負担が増える	子どもを持つことは 自然なことである	子どもは将来の社会 の担い手になる	好きな人の子どもを 持ちたい	自分の自由な時間が 制約される	身体的・精神的な負 担が増える
全 体	161	46.0	36.6	29.8	25.5	18.0	17.4	16.8
若年層	80	42.5	38.8	26.3	21.3	22.5	18.8	22.5
前期中堅層	81	49.4	34.6	33.3	29.6	13.6	16.0	11.1

区分	自分の子孫を残すこ とができる	子どもは老後の支え になる	子どもは夫婦関係を 安定させる	自分の家の家名を残 すことができる	子どもを持つことで 周囲から認められる	配偶者や親など周囲 が望んでいる	その他	無回答
全 体	11.8	7.5	6.8	3.1	1.2	1.2	4.3	11.2
若年層	12.5	10.0	5.0	3.8	1.3	0.0	5.0	12.5
前期中堅層	11.1	4.9	8.6	2.5	1.2	2.5	3.7	9.9

問 25 現在の子どもの人数をお答えください。(○は1つ)

「0人」の割合が48.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が20.5%、「1人」の割合が14.3%となっています。

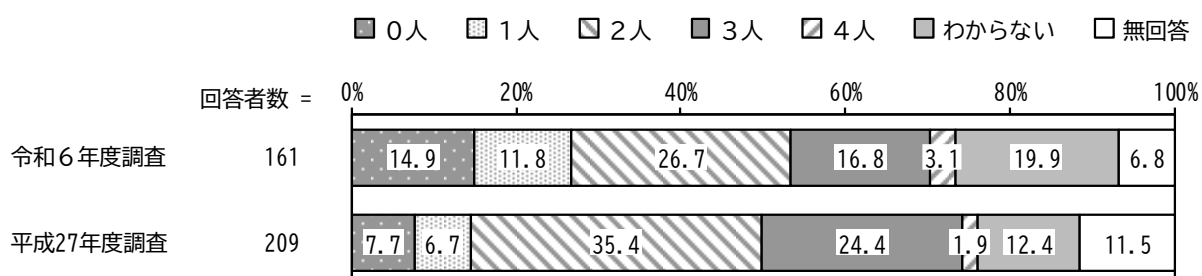
平成27年度調査と比較すると、「0人」「2人」の割合が増加しています。



問 26 希望する子どもの人数をお答えください。(○は1つ)

「2人」の割合が26.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が19.9%、「3人」の割合が16.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「0人」「1人」「わからない」の割合が増加しています。一方、「2人」「3人」の割合が減少しています。

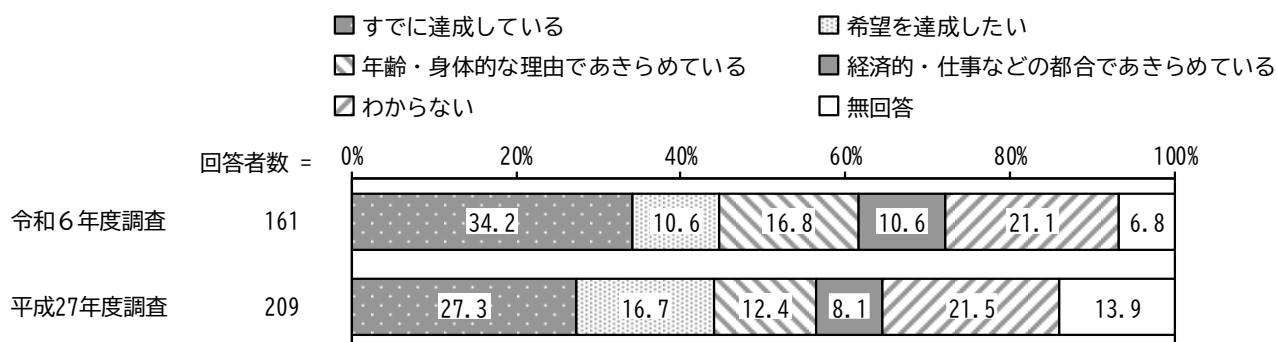


※平成27年度調査では、「4人」が「4人以上」となっていました。

問 27 希望する子どもの人数についての見通しをおたずねします。(○は1つ)

「すでに達成している」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 21.1%、「年齢・身体的な理由であきらめている」の割合が 16.8%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「すでに達成している」の割合が増加しています。一方、「希望を達成したい」の割合が減少しています。



※平成 27 年度調査では、「年齢・身体的な理由であきらめている」が「子どもはもっと欲しいが年齢・身体的な理由であきらめている」、「経済的・仕事などの都合であきらめている」が「子どもはもっと欲しいが経済的・仕事などの都合であきらめている」となっていました。

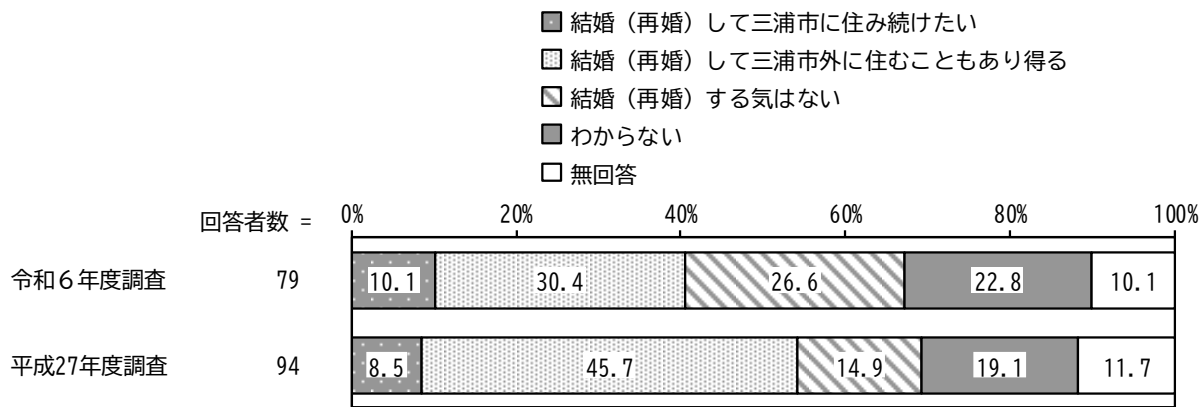
(6) 結婚について

問 28～問 29 は、10 代～40 代の独身の方にお聞きします。

問 28 あなたの結婚についての考え方はどれに該当しますか。(○は1つ)

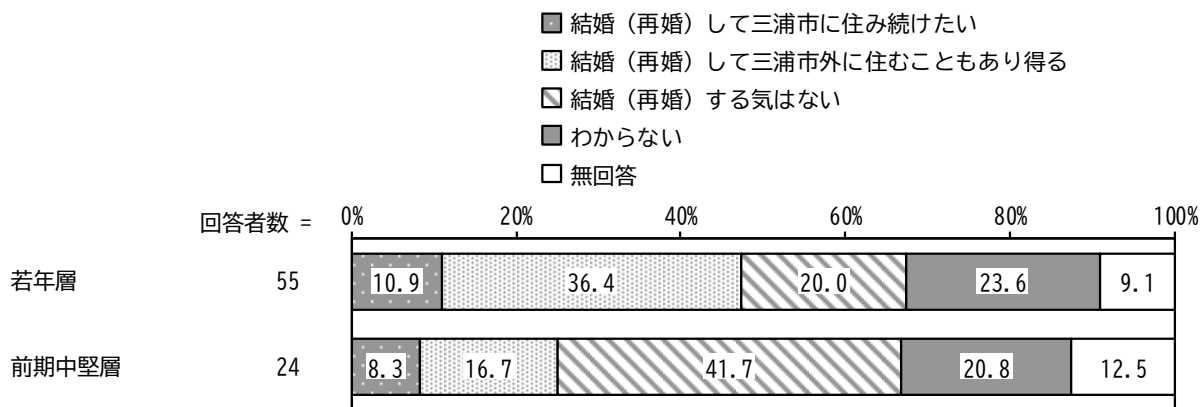
「結婚（再婚）して三浦市外に住むこともあり得る」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「結婚（再婚）する気はない」の割合が 26.6%、 「わからない」の割合が 22.8%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「結婚（再婚）する気はない」の割合が増加しています。一方、「結婚（再婚）して三浦市外に住むこともあり得る」の割合が減少しています。



【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層では「結婚（再婚）して三浦市外に住むこともあり得る」、前期中堅層では「結婚（再婚）する気はない」の割合が最も高くなっています。

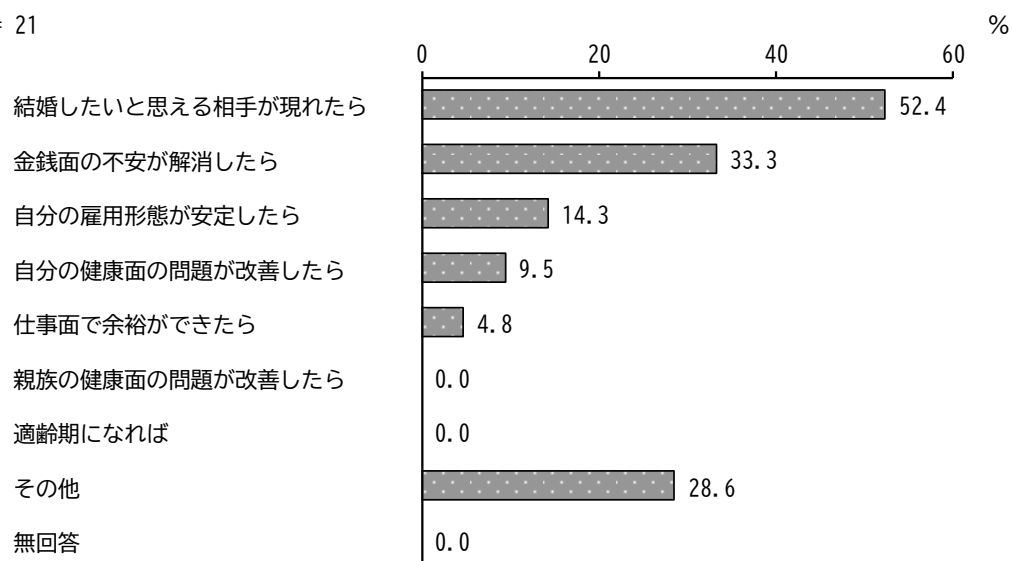


問 28 で「結婚（再婚）する気はない」に○をつけた方におたずねします。

問 28－1 あなたはどのような条件が整えば結婚の意思が強まりますか。（○は2つ）

「結婚したいと思える相手が現れたら」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「金銭面の不安が解消したら」の割合が 33.3%、「自分の雇用形態が安定したら」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 21



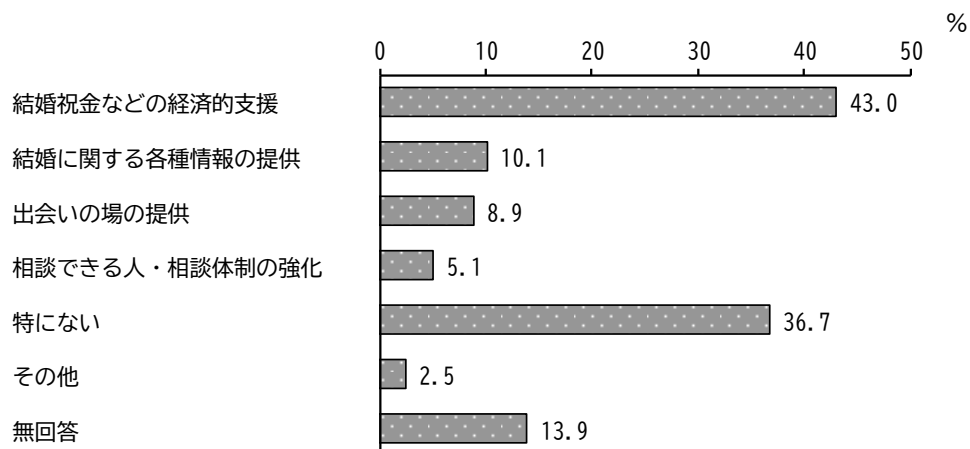
「その他」意見内容

記述内容	件数
結婚するつもりはない	1
条件的なものが整ったことがない	1
結婚する法的整備がない	1
この設問は、結婚を望むのが当然という決めつけを感じる。結婚しない理由は条件が揃わないからではない	1
特になし	1
総計	5

問 29 結婚について三浦市に期待することは何ですか。(○は2つ)

「結婚祝金などの経済的支援」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 36.7%、「結婚に関する各種情報の提供」の割合が 10.1%となっています。

回答者数 = 79



「その他」意見内容

記述内容	件数
多様性などへの法の整備	1
老害をいなくする	1
自分の問題と思う	1
総計	3

【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層では「結婚祝金などの経済的支援」、前期中堅層では「特にない」の割合が最も高くなっています。また、若年層では「結婚に関する各種情報の提供」、「結婚祝金などの経済的支援」の割合が前期中堅層より高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	結婚祝金などの経済的支援	結婚に関する各種情報の提供	出合いの場の提供	相談できる人・相談体制の強化	特にない	その他	無回答
全 体	79	43.0	10.1	8.9	5.1	36.7	2.5	13.9
若年層	55	52.7	12.7	9.1	3.6	32.7	1.8	12.7
前期中堅層	24	20.8	4.2	8.3	8.3	45.8	4.2	16.7